

令和6年度 第2回みどり市地域公共交通活性化協議会

【みどり市地域公共交通計画について】

令和6年11月6日

目次

1. みどり市の公共交通の実態

(1)地域特性	3
(2)交通特性	11

2. 事業者ヒアリング結果

(1)ヒアリング結果	36
------------	----

3. 実態調査の設計

(1)実施概要	48
---------	----

4. 今後のスケジュール

(1)第3回活性化協議会に向けて	49
------------------	----

1. みどり市の公共交通の実態

(1)地域特性

(2)交通特性

1) 人口の動向

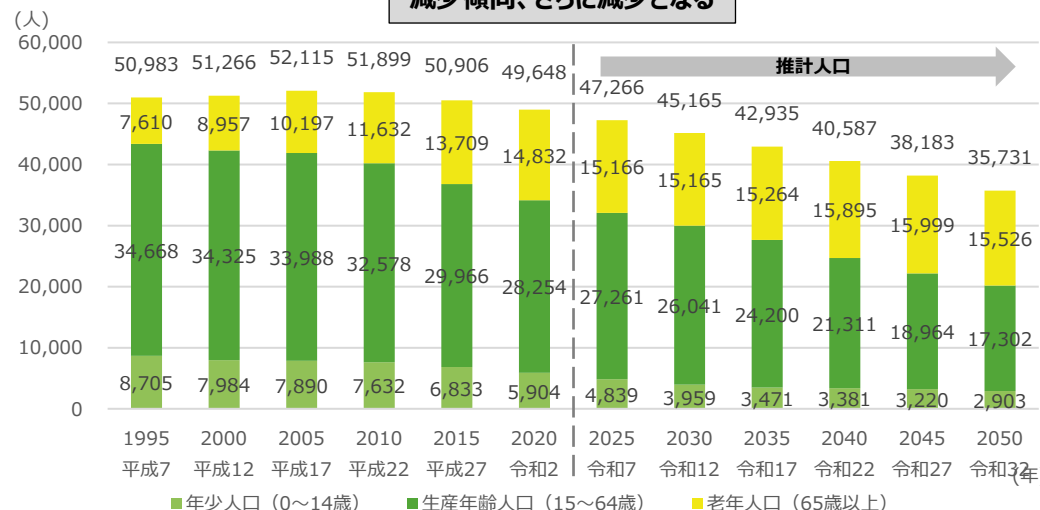
(1)地域特性

①人口動態・地区別人口・年齢別人口

- 総人口は、2005年の約52,100人をピークに年々減少し、2020年には約49,600人、2050年には35,700人まで減少すると推計されている。
- 地区別人口は、笠懸町では維持し、大間々・東町では、年々減少している。
- 年齢別人口は、45～49歳、50～54歳、70～74歳の割合が高く、年少人口の割合は低い。

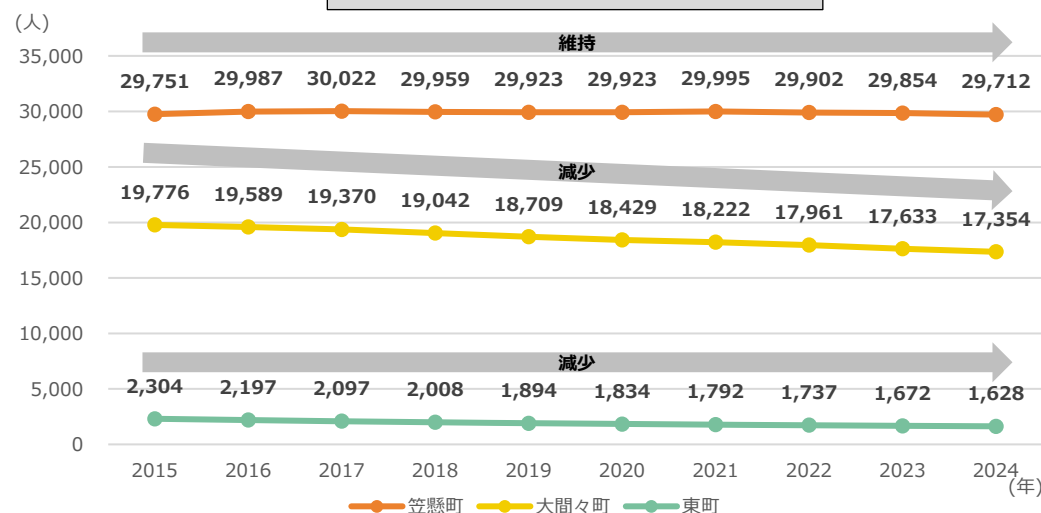
□ 人口推移・将来人口

減少傾向、さらに減少となる



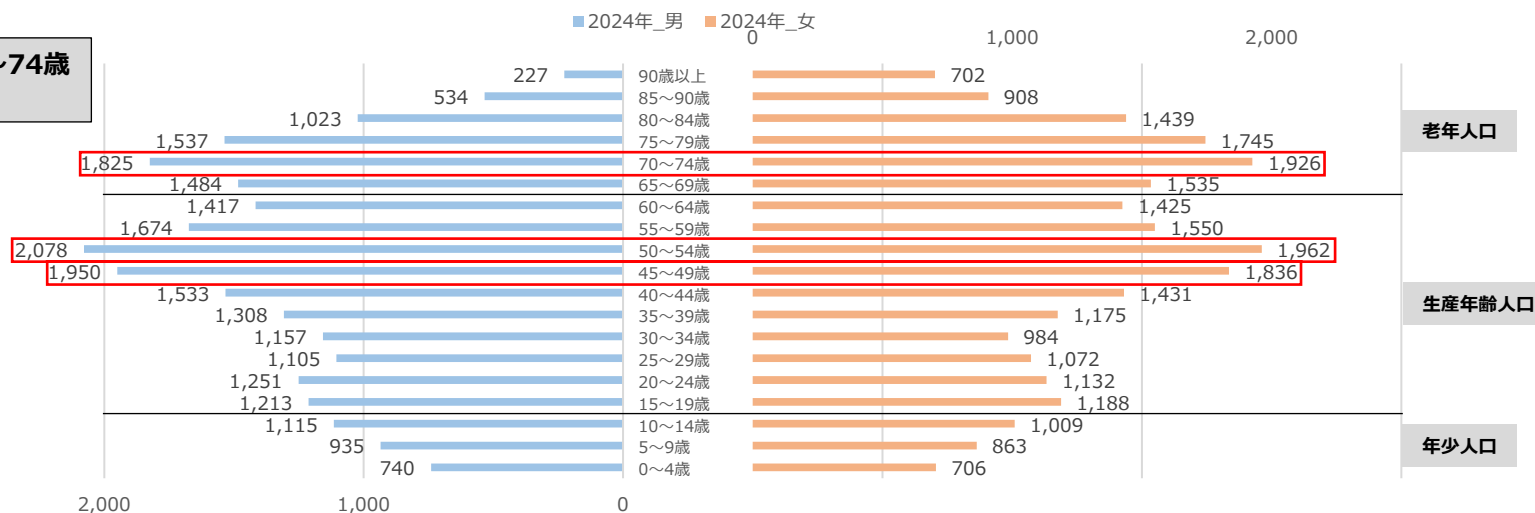
□ 地区別人口

笠懸町は維持、大間々・東町は減少傾向



□ 年齢別人口 (2024年)

45～49歳、50～54歳、70～74歳の割合が高い。

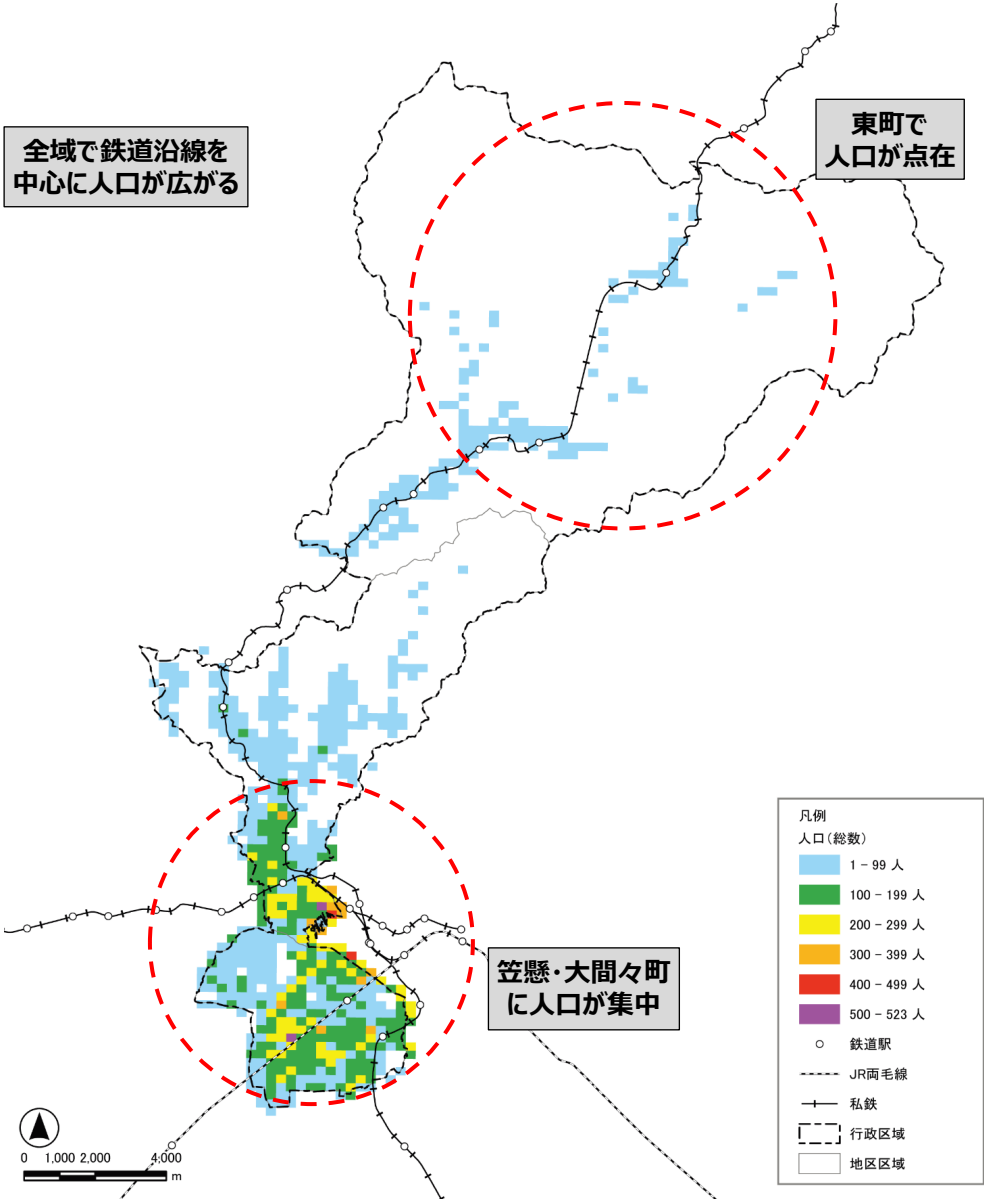


1) 人口の動向

(1)地域特性

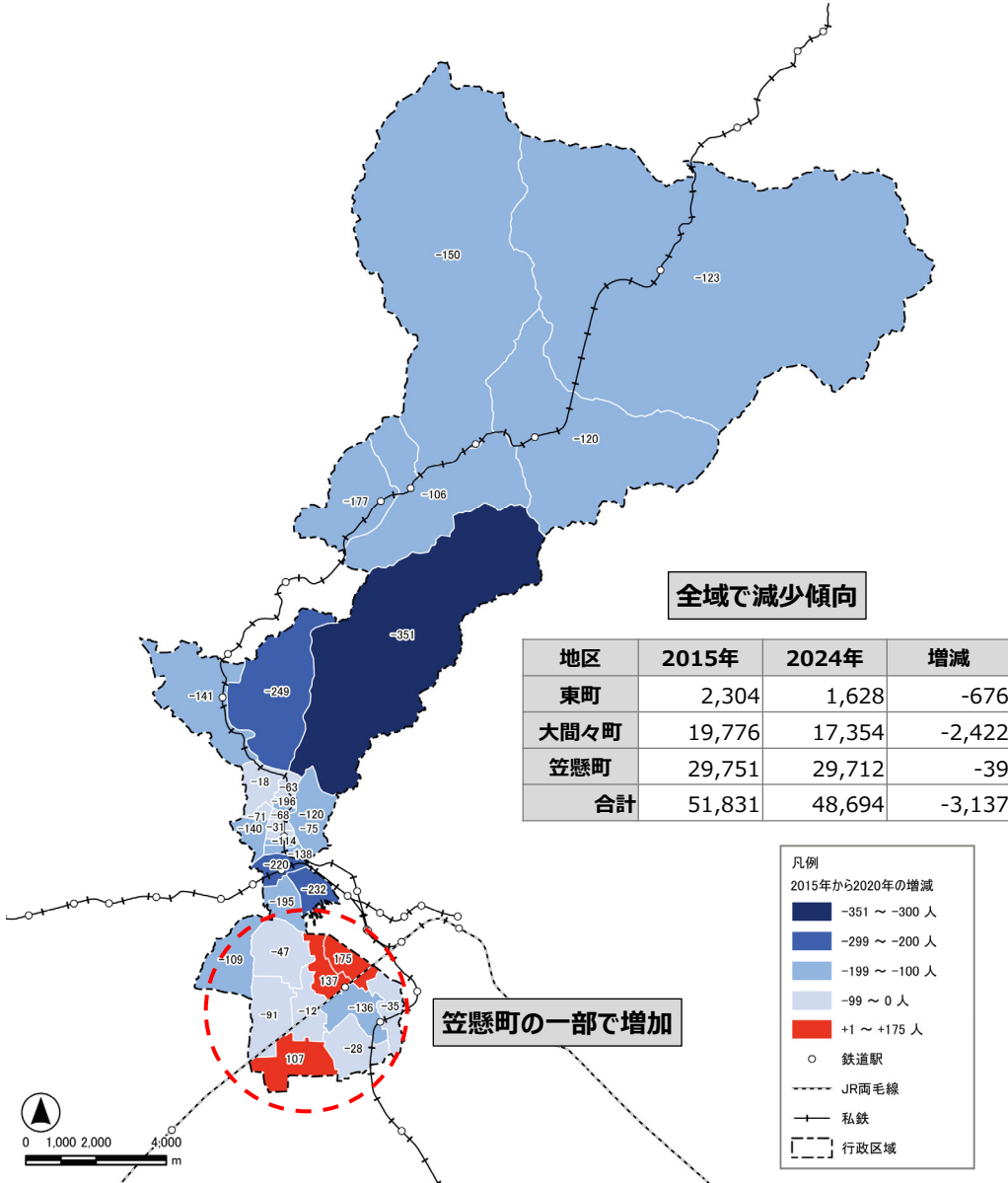
②2020年の人口分布（250mメッシュ）

- みどり市全域で、鉄道沿線を中心に人口が広がっている。
- 笠懸・大間々町に人口が集中し、東町では人口が点在している。



③2015年から2024年の増減数（行政区別）

- 2015年から2024年で約3,100人減少し、みどり市全域では減少傾向となっている。
- 笠懸町の一部で人口増加している。

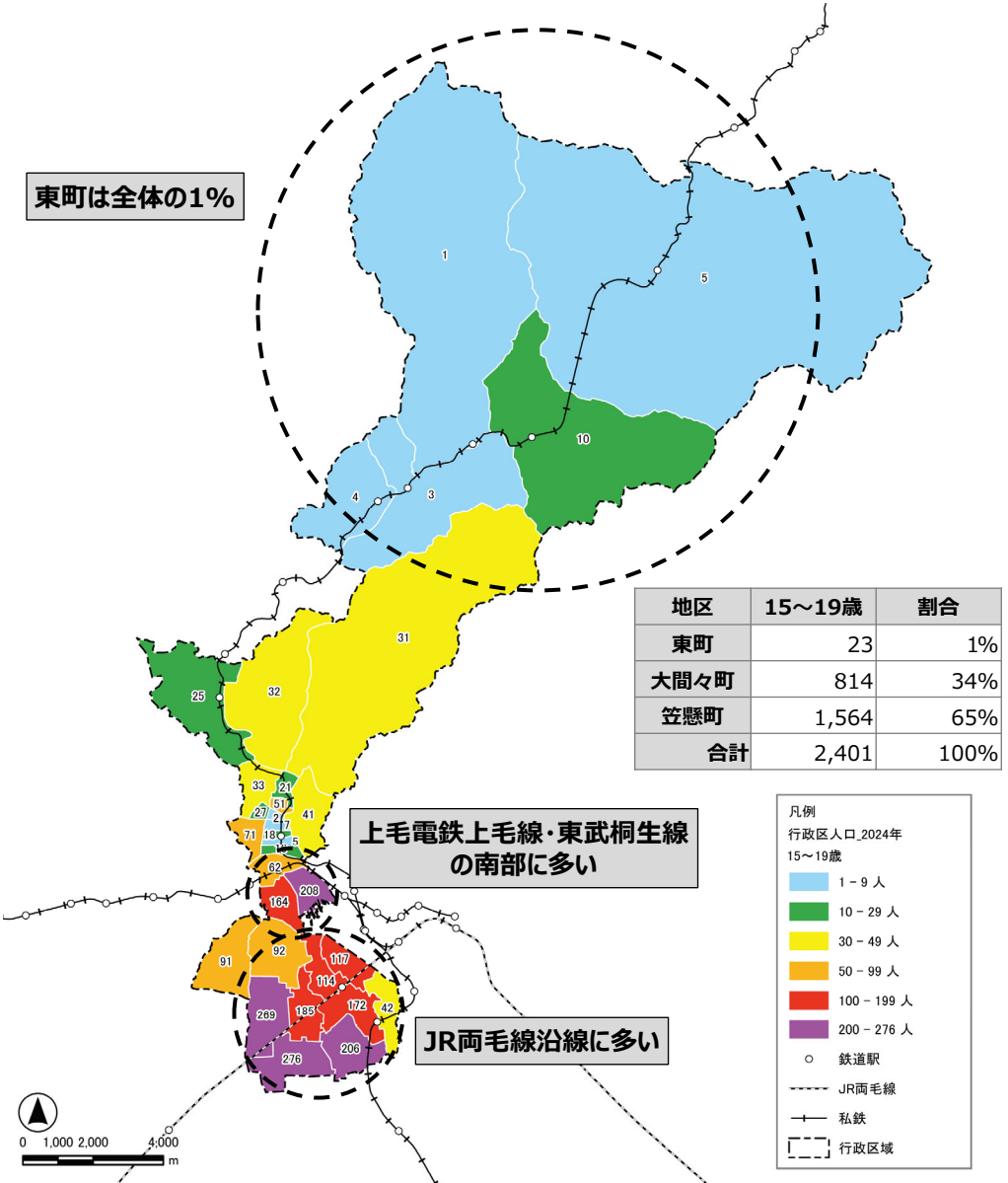


1) 人口の動向

(1)地域特性

④15～19歳の人口（行政区別）

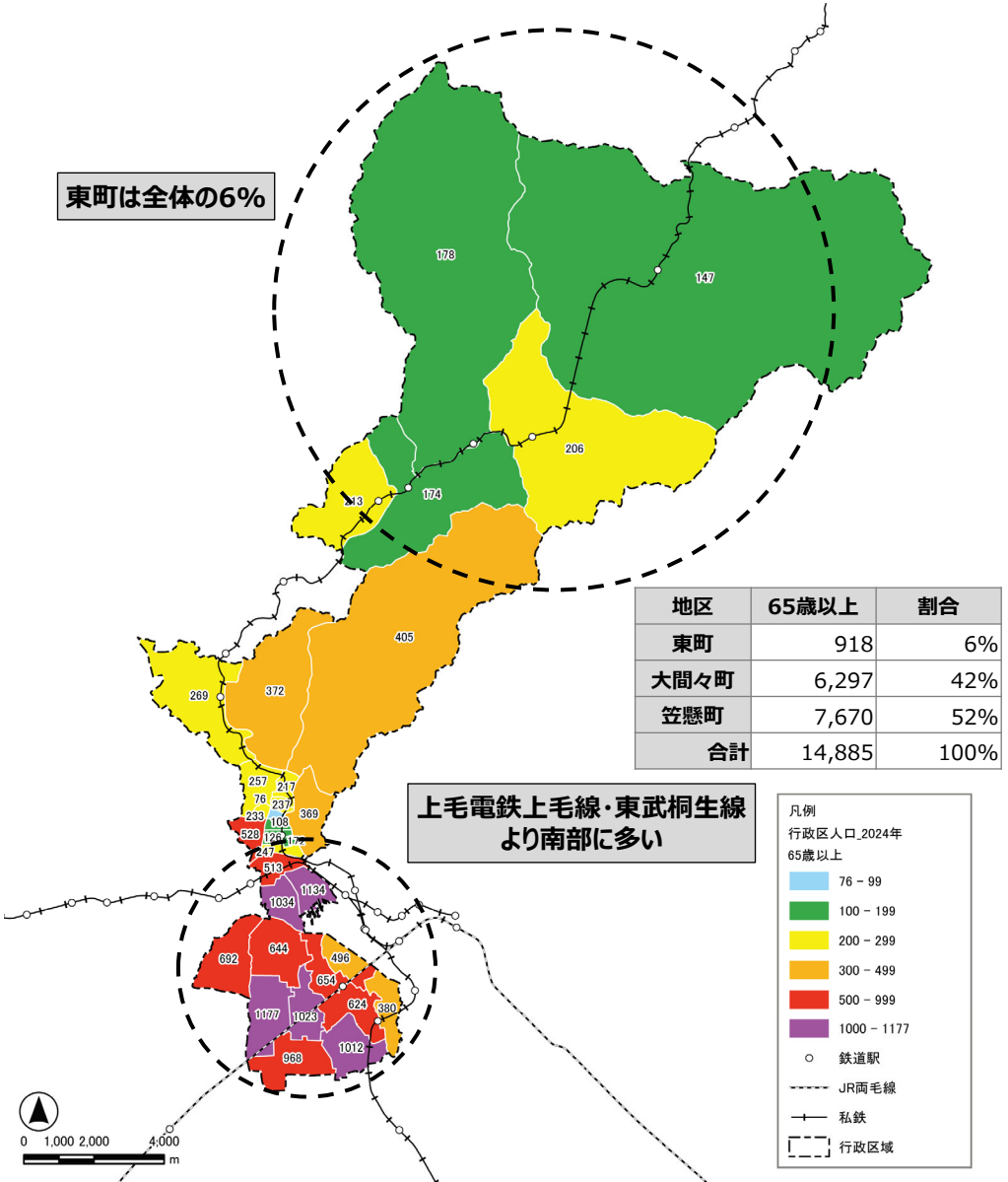
- 笠懸・大間々町で全体の99%を占める。東町は1%となっている。
- JR両毛線沿線、上毛電鉄上毛線・東武桐生線沿線の南部に多い。



資料：住民基本台帳

⑤65歳以上の人口（行政区別）

- 笠懸・大間々町で94%を占める。東町は6%となっている。
- 上毛電鉄上毛線・東武桐生線沿線より南部に多い。



資料：住民基本台帳 6

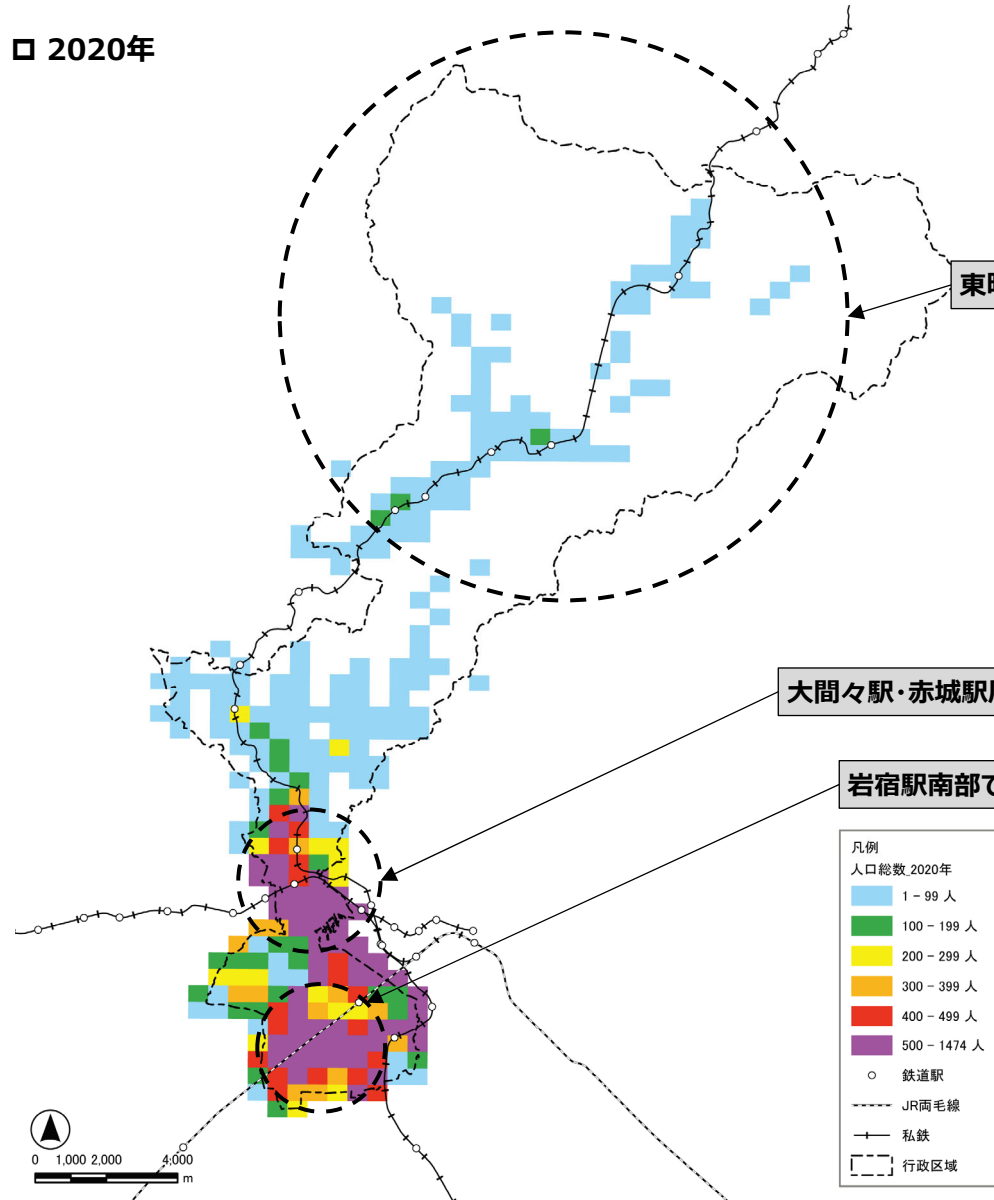
1) 人口の動向

(1)地域特性

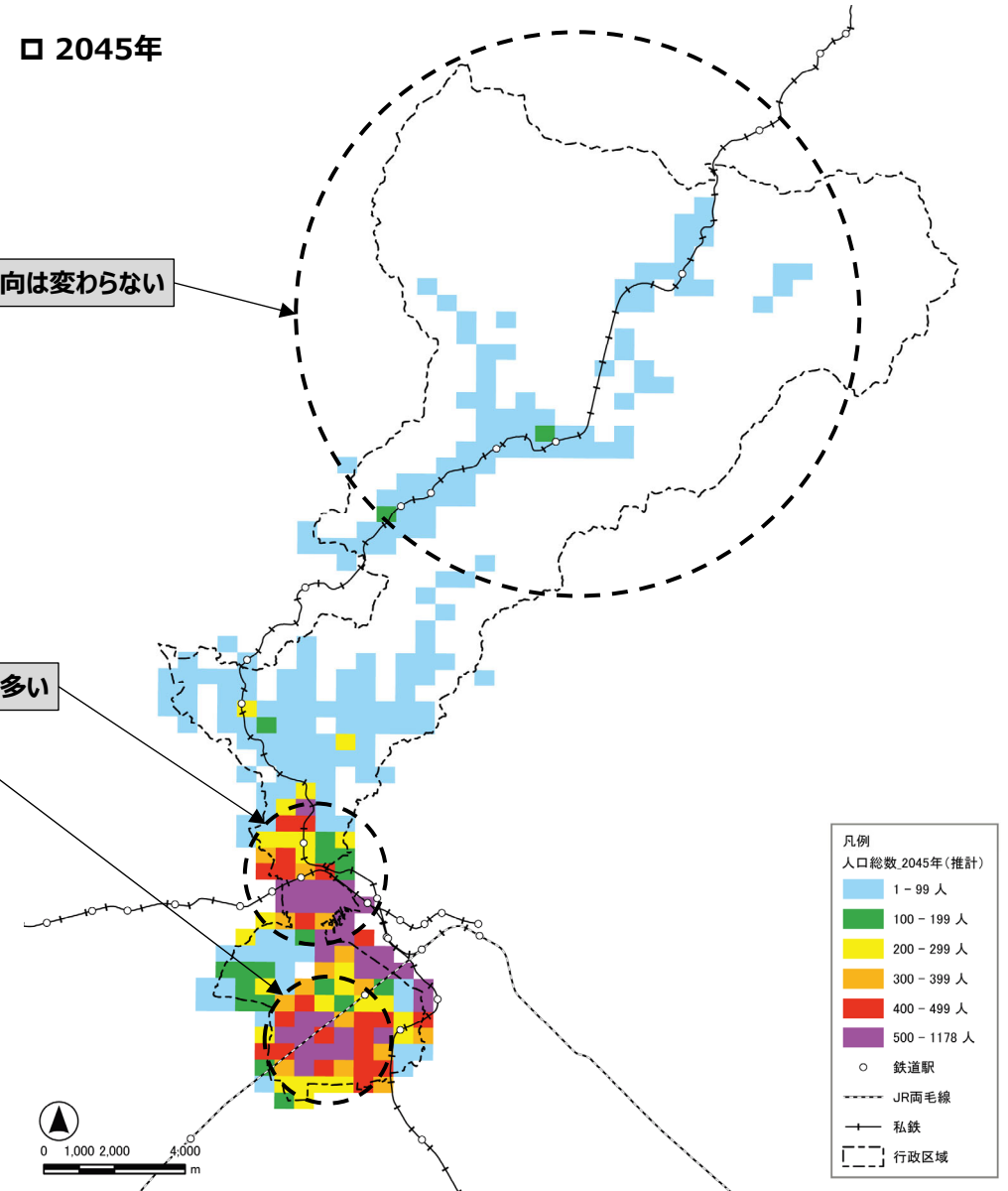
⑥2020年・2045年の人口分布（500mメッシュ）

- 全体的に減少傾向であるが、岩宿駅南部、赤城駅・大間々駅周辺に市内の中でも多くの人口が分布していると推計される。
- 東町での傾向は変わらず、わ鐵沿線に人口が分布していると推計される。

□ 2020年



□ 2045年



資料：国勢調査

資料：国土数値情報 7

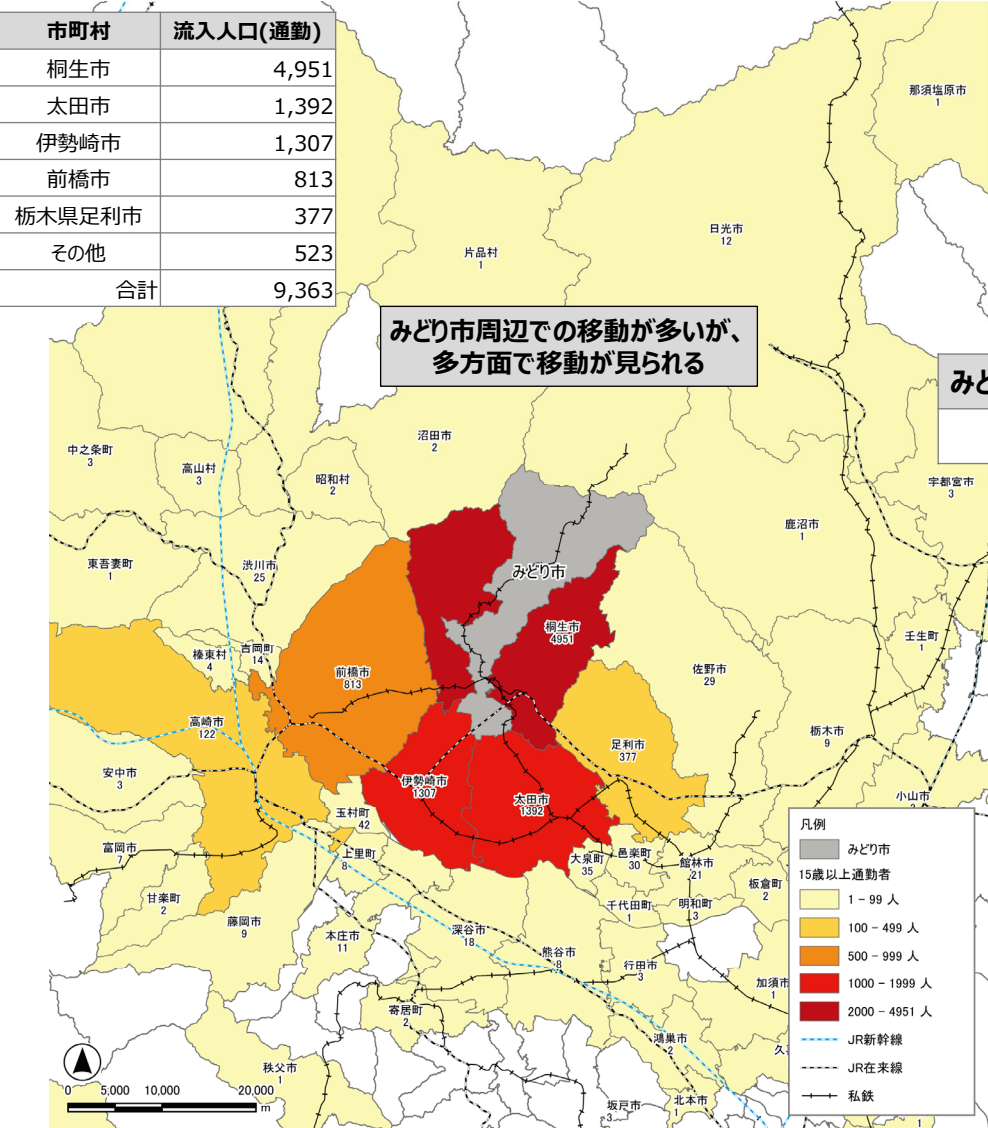
2) 通勤・通学者の動向

(1)地域特性

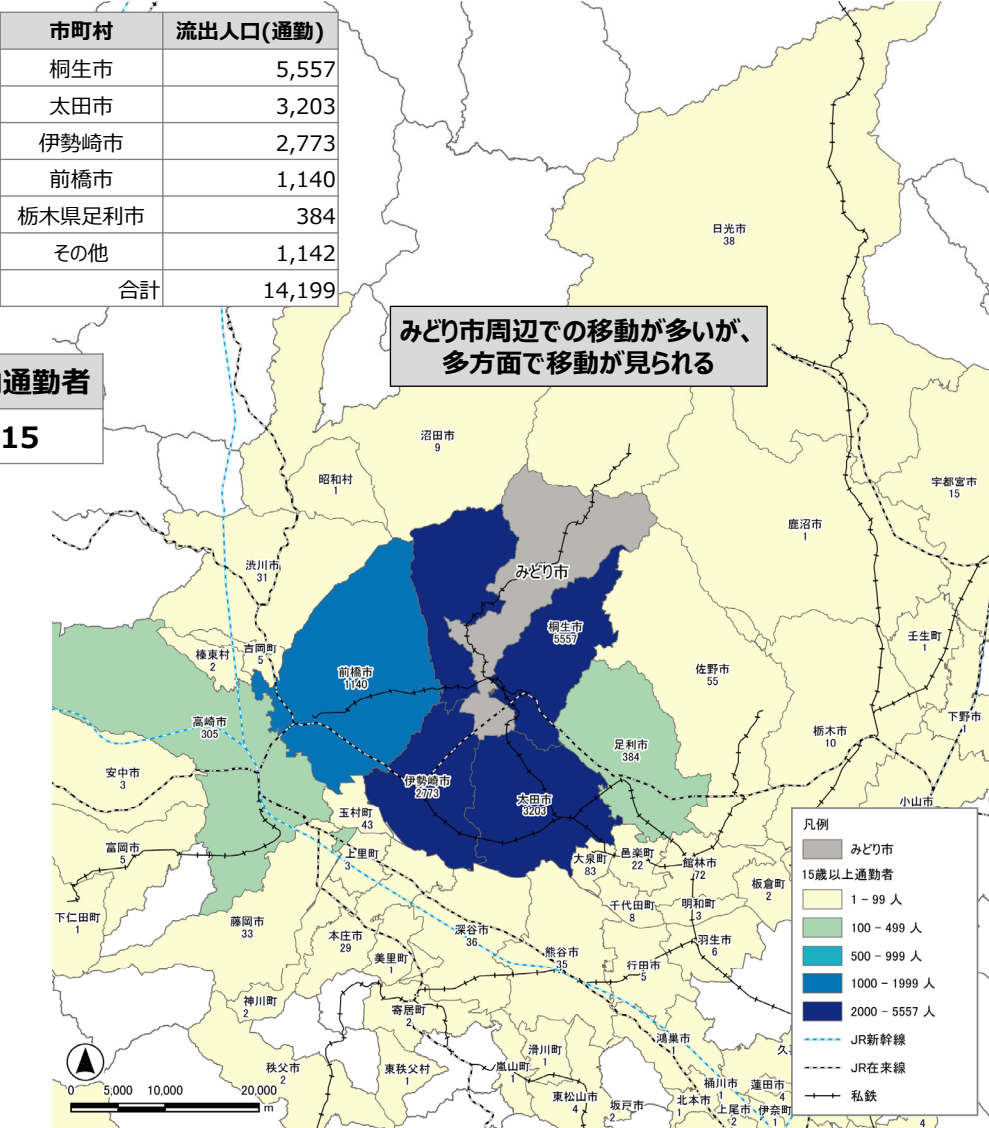
①通勤者の動向

- 市内での通勤者は、約1万人であり、流入通勤者は約9千人、流出通勤者は約1万4千人となっている。県内外問わず、多方面での移動が見られる。
- 流入・流出ともに、みどり市周辺の桐生市・太田市・伊勢崎市・前橋市・足利市での移動が多い。

□ 通勤流入者



□ 通勤流出者



みどり市内通勤者
10,315

2) 通勤・通学者の動向

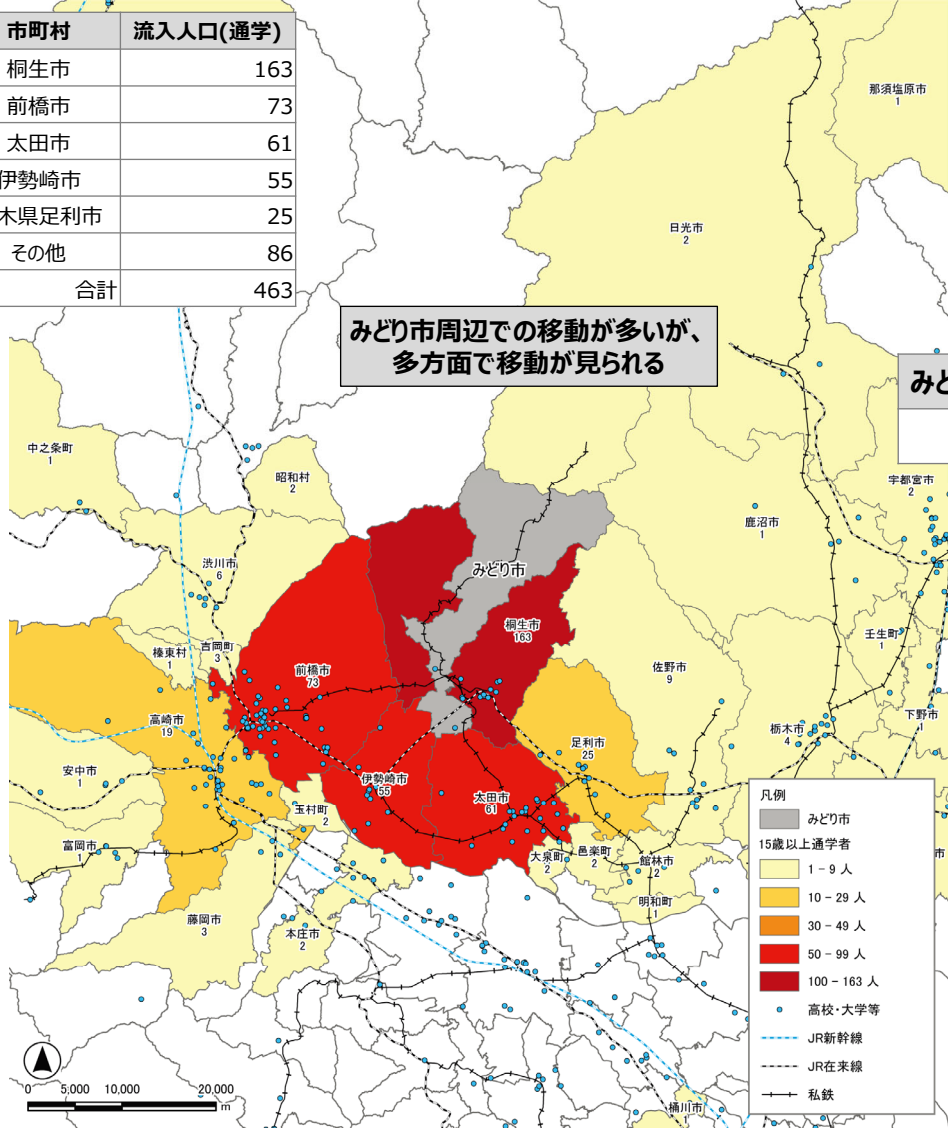
(1)地域特性

②通学者の動向

- 市内での通学者は、約570人であり、流入通学は約460人、流出通学者は約1,800人となっている。流出よりも、流入で多方面からの通学者が見られる。
- 流入・流出ともに、みどり市周辺の桐生市・前橋市・太田市・伊勢崎市が多い。

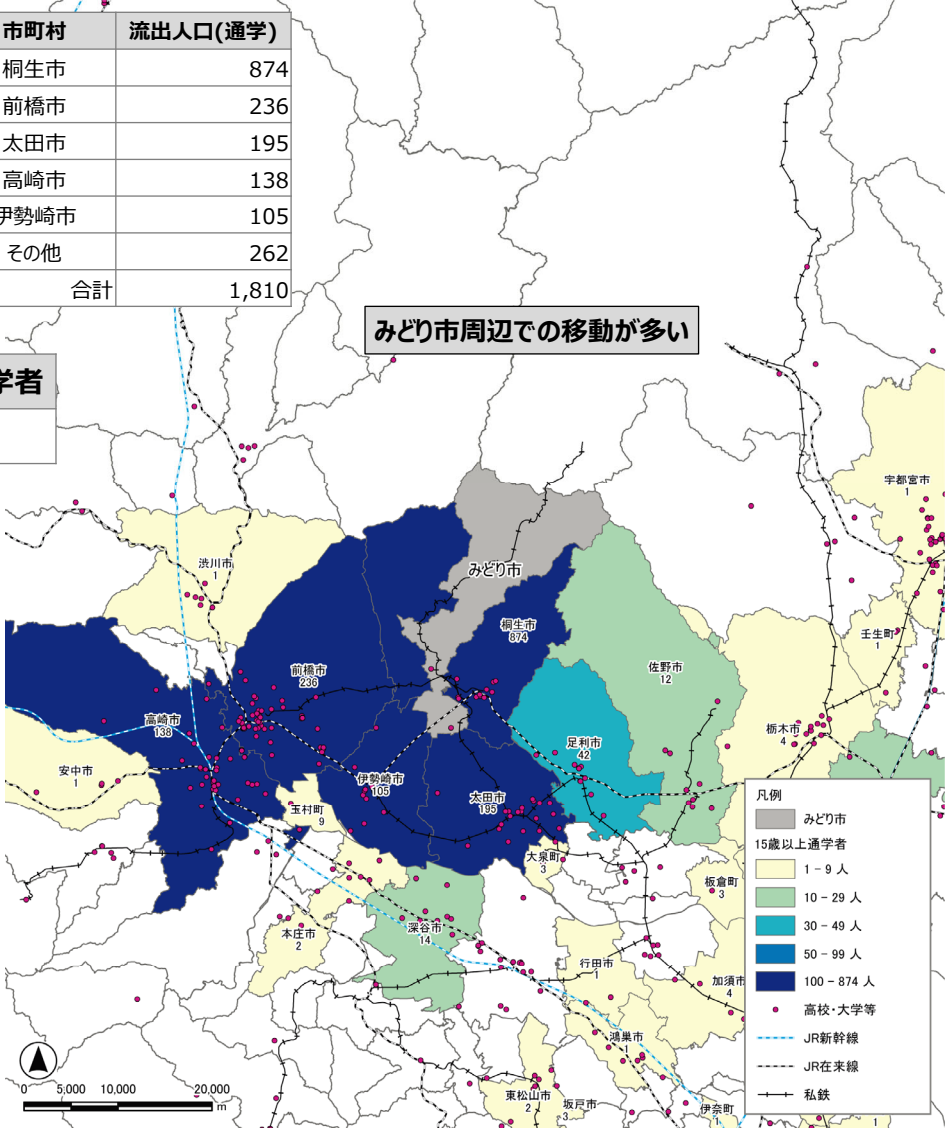
□ 通学流入者

市町村	流入人口(通学)
桐生市	163
前橋市	73
太田市	61
伊勢崎市	55
栃木県足利市	25
その他	86
合計	463



□ 通学流出者

市町村	流出人口(通学)
桐生市	874
前橋市	236
太田市	195
高崎市	138
伊勢崎市	105
その他	262
合計	1,810



みどり市内通学者

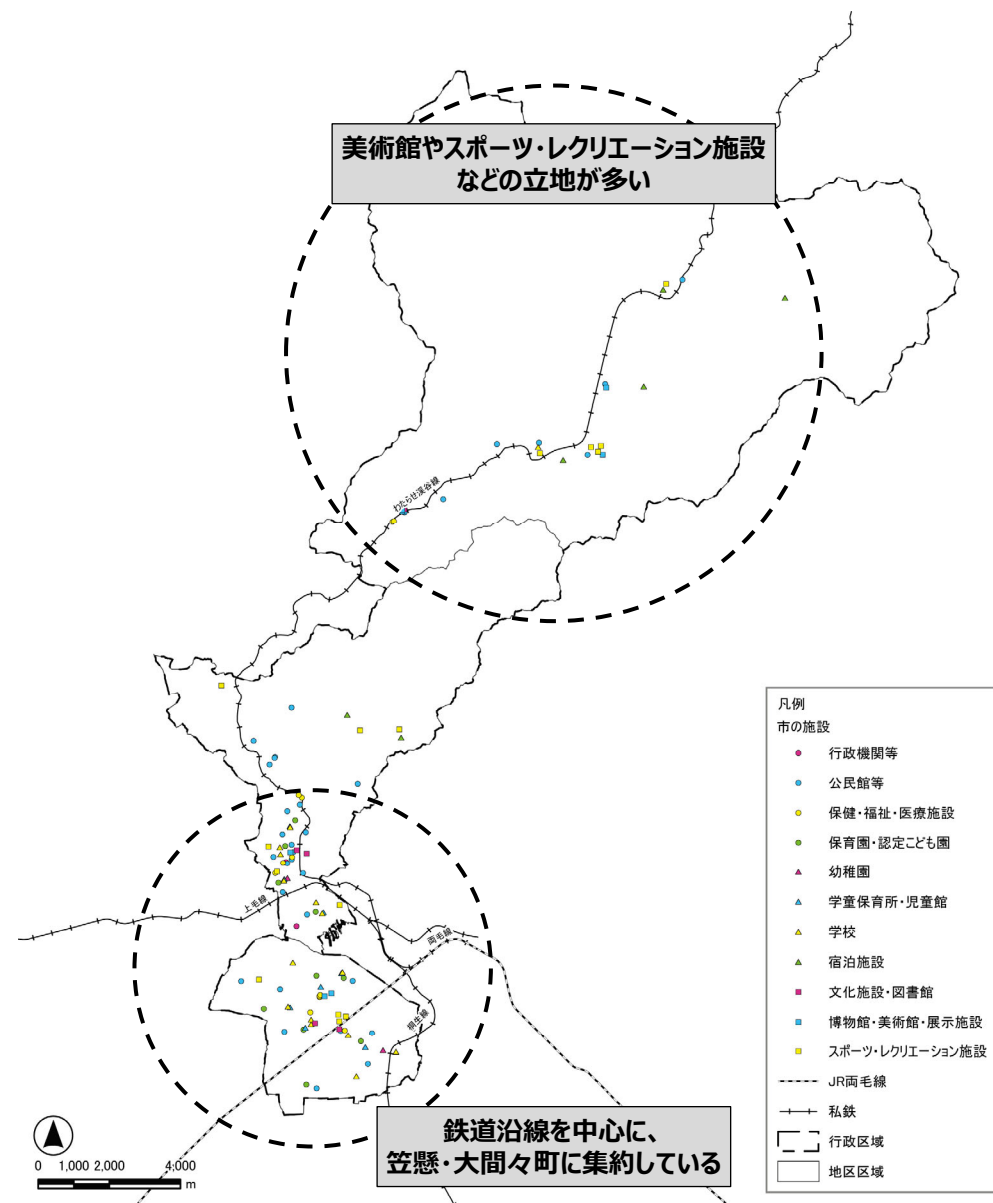
569

3) 施設立地の動向

(1) 地域特性

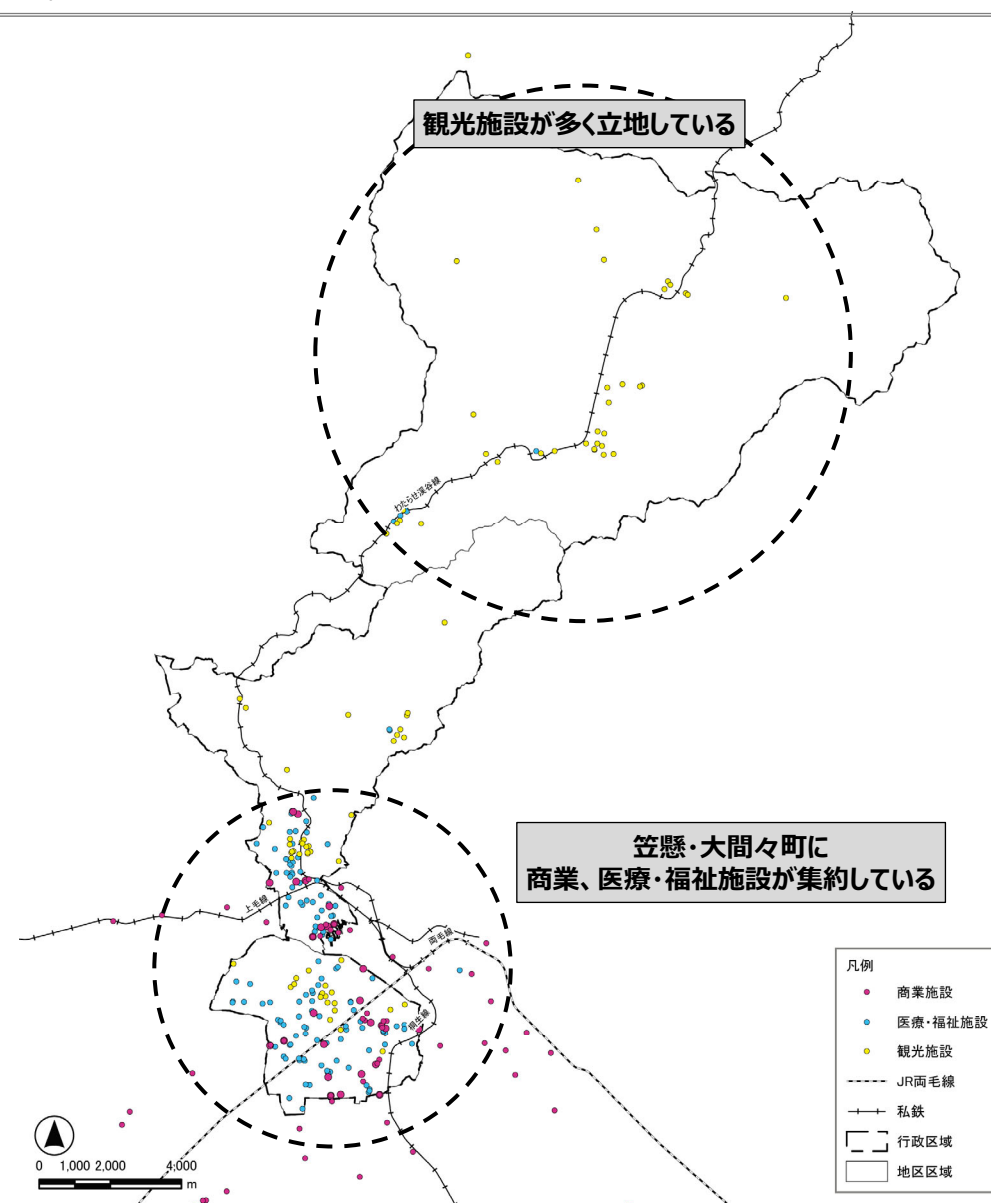
① 市の施設

- 鉄道沿線で、施設立地が見られ、笠懸・大間々町を中心に集約している。
- 東町では、美術館やスポーツ・レクリエーション施設などの立地が多く見られる。



② 医療・福祉施設

- 鉄道沿線で、施設立地が見られ、笠懸・大間々町を中心に商業、医療・福祉施設が集約している。
- 東町では、観光施設の立地が多く見られる。



1. みどり市の公共交通の実態

(1)地域特性

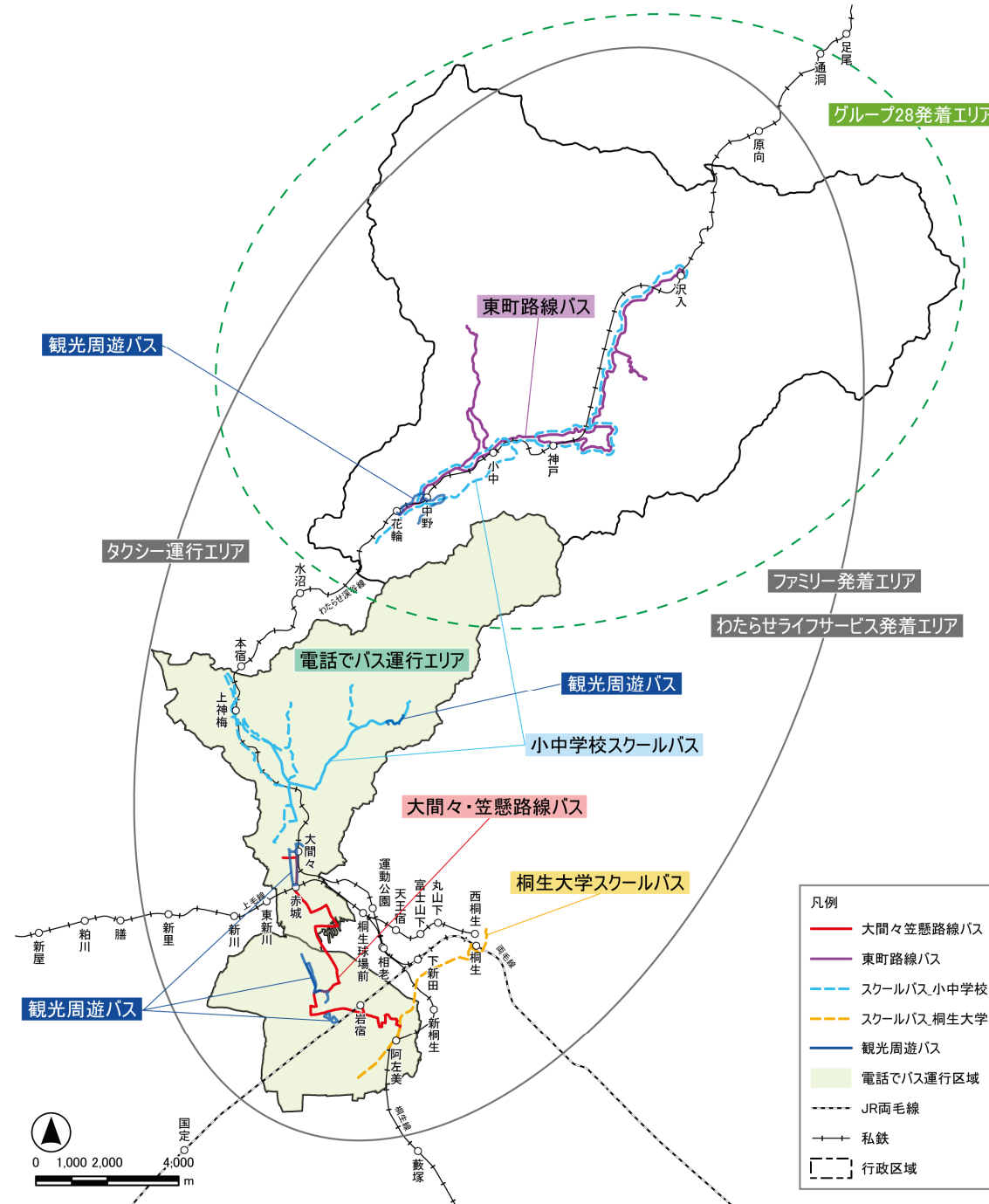
(2)交通特性

1) みどり市内の公共交通

(2)交通特性

位置付け ※1	交通モード	事業者	運行エリア・区間	役割
基幹幹線	両毛線	東日本旅客鉄道(株)	小山駅～新前橋駅 (市内駅：1駅)	- 笠懸エリアから桐生市・伊勢崎市・前橋市・高崎市への公共交通を担う。 - JR高崎線・北陸新幹線及びJR宇都宮線・東北新幹線に接続して都市圏間の接続を担う。
主要幹線	桐生線	東武鉄道(株)	太田駅～赤城駅 (市内駅：2駅)	- 赤城エリアから太田市・館林市への広域交通を担う。 - 東武伊勢崎線・東武日光線に接続して、東京・日光方面への広域交通も担う。
	上毛線	上毛電気鉄道(株)	中央前橋駅～西桐生駅 (市内駅：1駅)	赤城エリアと桐生市・前橋市間の移動を担う
補助幹線	わたらせ渓谷線	わたらせ渓谷鐵道(株)	桐生駅～間藤駅 (市内駅：7駅)	- 大間々エリアと神戸・足尾エリアを結ぶ補助幹線であり、足尾エリアからは日光駅周辺に路線バスが接続。 - 市民の日常生活・観光客の移動を担う。
地域内 交通	大間々・笠懸 路線バス	みどり市 (赤城観光自動車(株))	大間々駅～阿左美駅	- 大間々エリアと笠懸エリアを結び、鉄道へ乗り継ぐ人の移動を担う。 - 一部で、桐生市のコミュニティバス（おりひめ）と接続。
	東町路線バス	みどり市 (赤城観光自動車(株))	東町内	東町エリア内の日常生活・観光客の移動を担う。
	電話でバス	みどり市 (赤城観光自動車(株))	大間々町・笠懸町	予約に応じて、日常生活・観光客等、多様な移動を担う。
	タクシー	沼田屋タクシー(株) 桐生合同自動車(株) 桐生朝日自動車(株)	東毛地域・みどり市内	日常生活・観光等、ドアツードアの多様な移動を担う。
	スクールバス	みどり市 (委託3社)	あずま小中学校、大間々北 小学校、大間々中学校	統廃合となった学校区の児童・生徒の通学手段を担う。
		桐生大学	桐生第一高校～桐生大学	桐生駅・阿左美駅で停車し、他方面から桐生第一高校生・桐生大学生の通学手段を担う。
	交通空白地有 償運送	グループ28(NPO)	東町内・桐生市黒保根	東町エリアに住所があり、日常生活の移動に困っている人の移動を担う。
	福祉有償運送	ファミリー(NPO)	みどり市内・桐生市内	みどり市内・桐生市内を発着とする、障害者や高齢者の移動を担う。
		わたらせライフサービス (NPO)	みどり市内・桐生市内	みどり市内・桐生市内を発着とする、障害者や高齢者の移動を担う。
	観光周遊バス	みどり市観光協会	みどり市内の観光地	イベント時の観光PRなどを目的とした移動を担う。

※1：「群馬県交通まちづくり戦略(群馬県地域公共交通計画)」での位置づけ



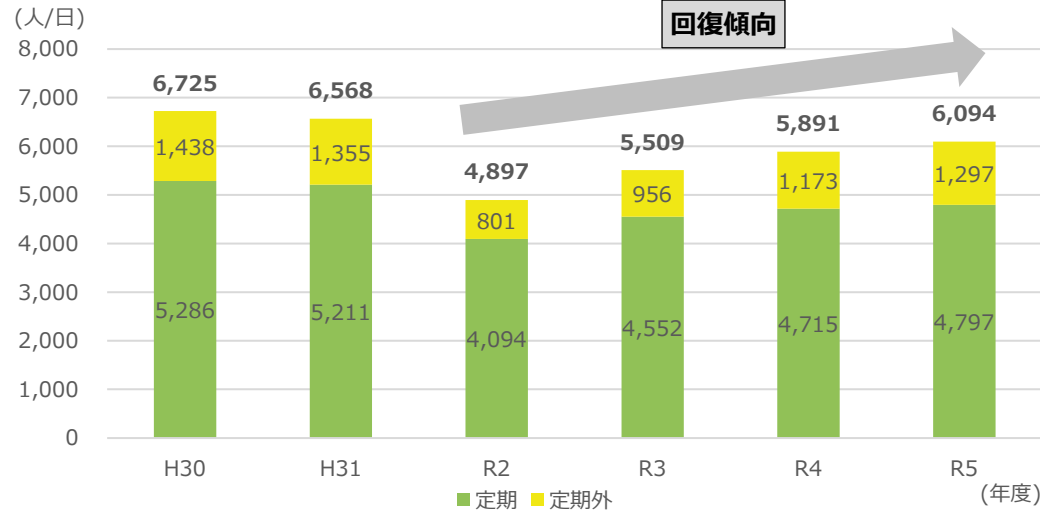
2) JR両毛線

(2)交通特性

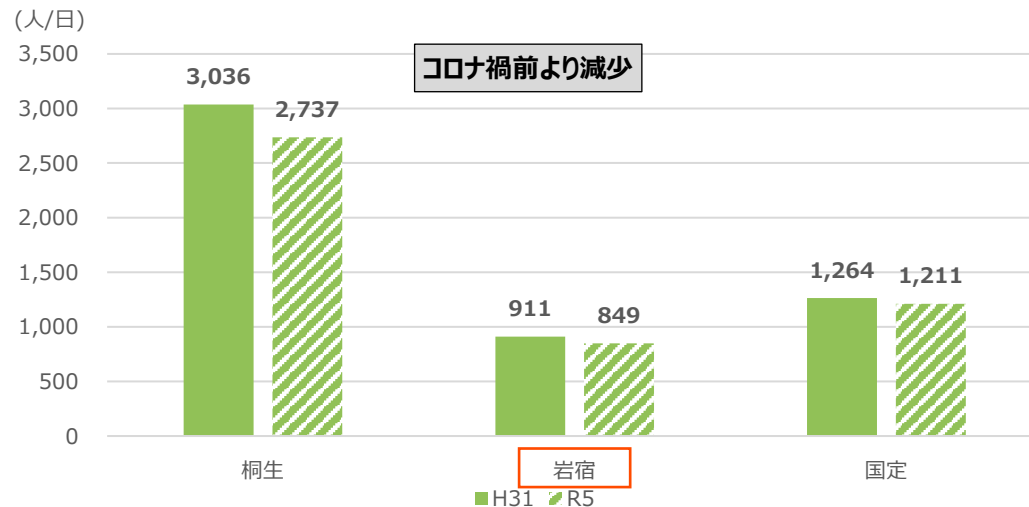
① 桐生駅～国定駅の利用者動向

- 年間乗降者数(桐生駅～国定駅)は、R2年度からのコロナ禍により減少したが、R5年度ではH31年度に対して、約93%まで回復している。約80%が定期での利用となっている。
- 駅ごとでは、コロナ前から減少しているものの、定期外の国定で1人/日の増加となっている。

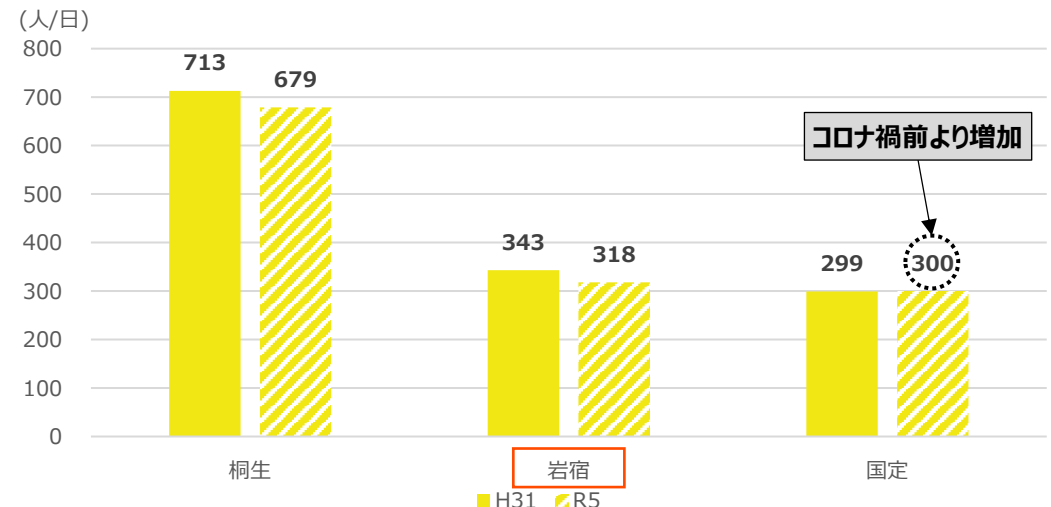
□ 年間乗降者数【人/日】



□ 【定期】H31・R5年度の乗降者数【人/日】



□ 【定期外】H31・R5年度の乗降者数【人/日】



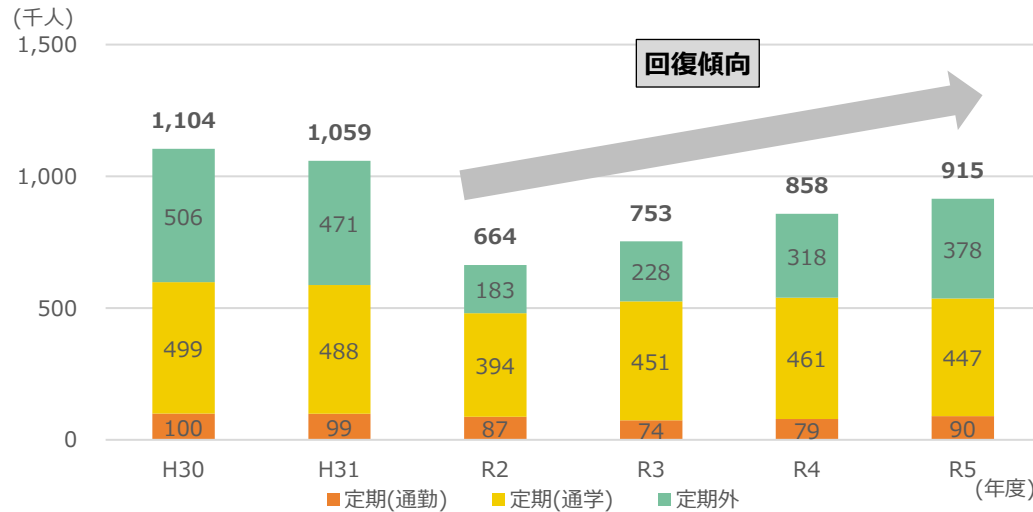
3) 東武桐生線

(2)交通特性

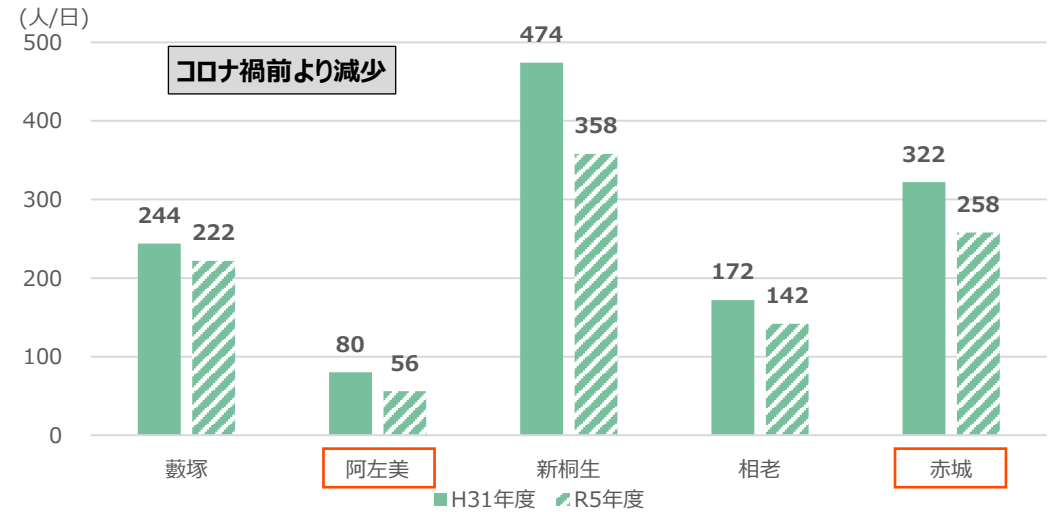
① 薮塚駅～赤城駅の利用者動向

- 年間乗降者数(薮塚駅～赤城駅)は、R2年度からのコロナ禍により減少したが、R5年度ではH31年度に対して、約86%まで回復している。約50%が通学での利用となっている。
- 駅ごとでは、コロナ禍前から減少しているものの、通勤で新桐生、通学で薮塚・相老でそれぞれ増加している。通勤の赤城駅で維持となっている。

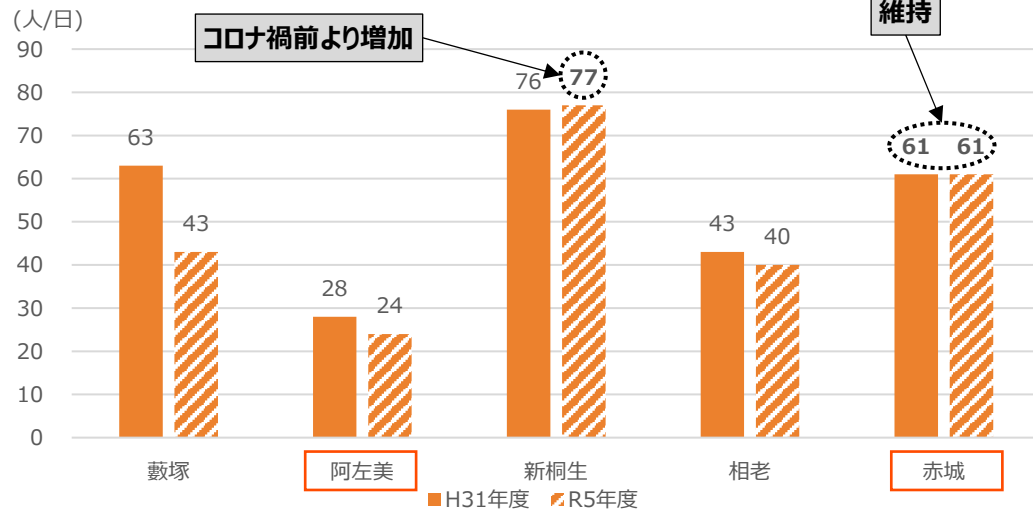
□ 年間乗降者数



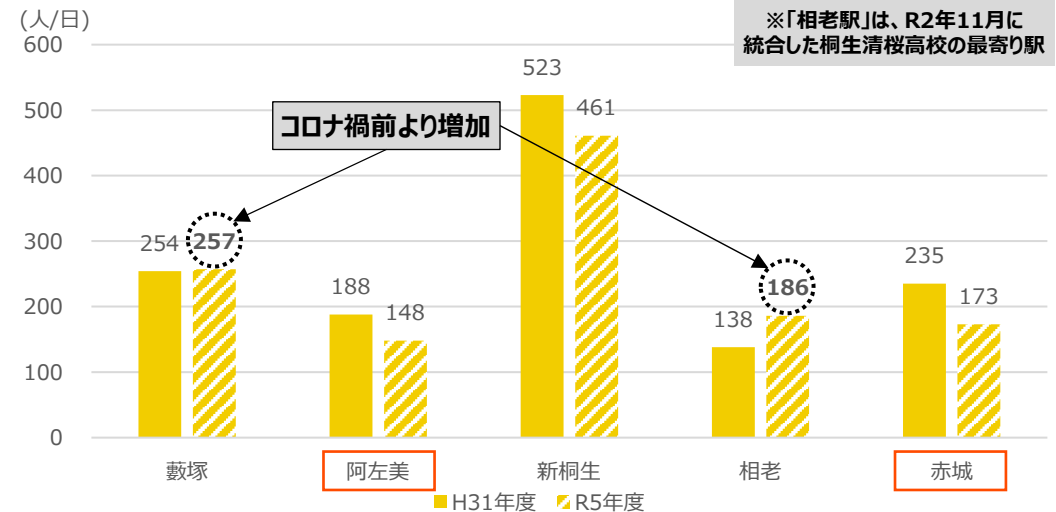
□ 【定期外】H31・R5年度の乗降者数【人/日】



□ 【定期(通勤)】H31・R5年度の乗降者数【人/日】



□ 【定期(通学)】H31・R5年度の乗降者数【人/日】



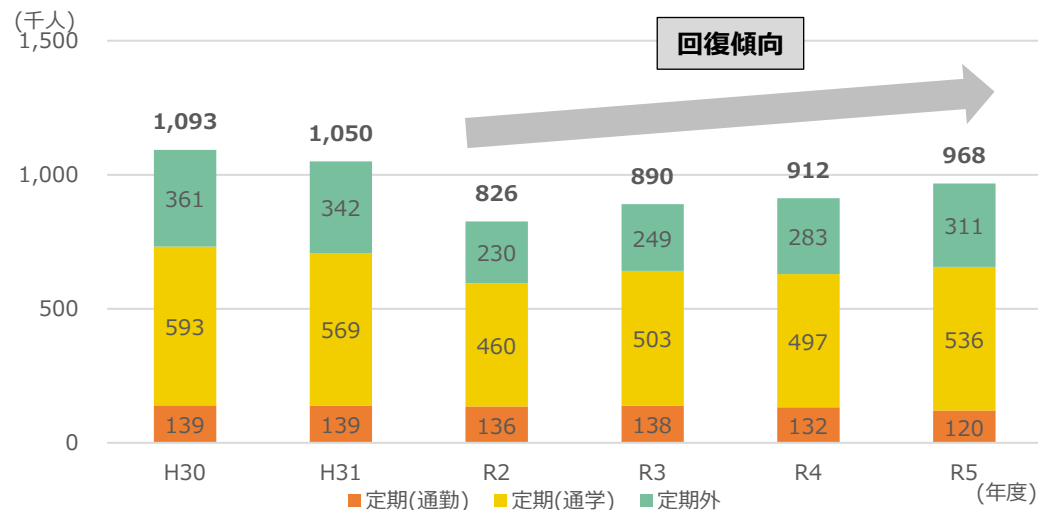
4) 上毛電鉄

(2)交通特性

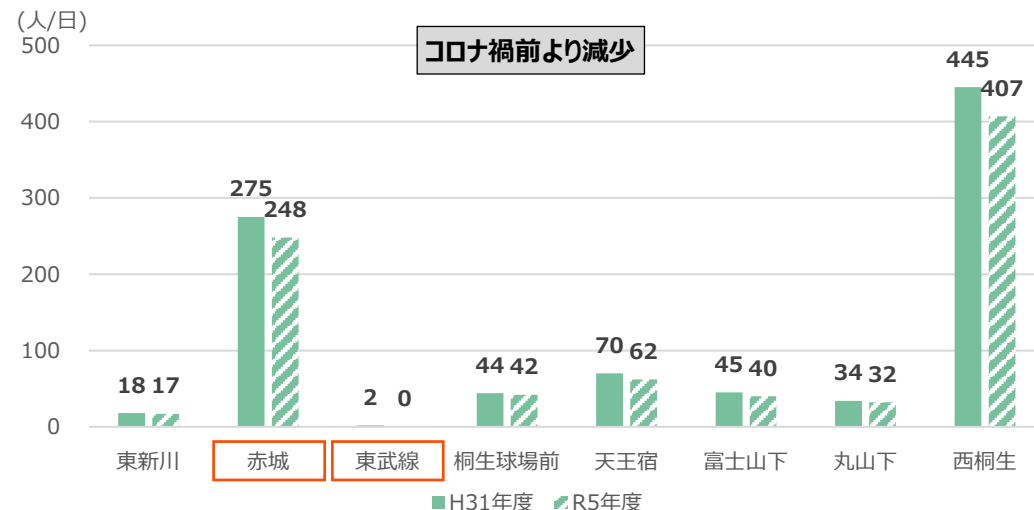
①東新川駅～西桐生駅の利用者動向

- 年間乗降者数(東新川駅～西桐生駅)は、R2年度からのコロナ禍により減少したが、R5年度ではH31年度に対して、約92%まで回復している。約55%が通学での利用となっている。
- 駅ごとでは、コロナ禍前から減少しているものの、通勤で東武線からの乗継・桐生球場前、通学で東新川・桐生球場前がそれぞれ増加している。

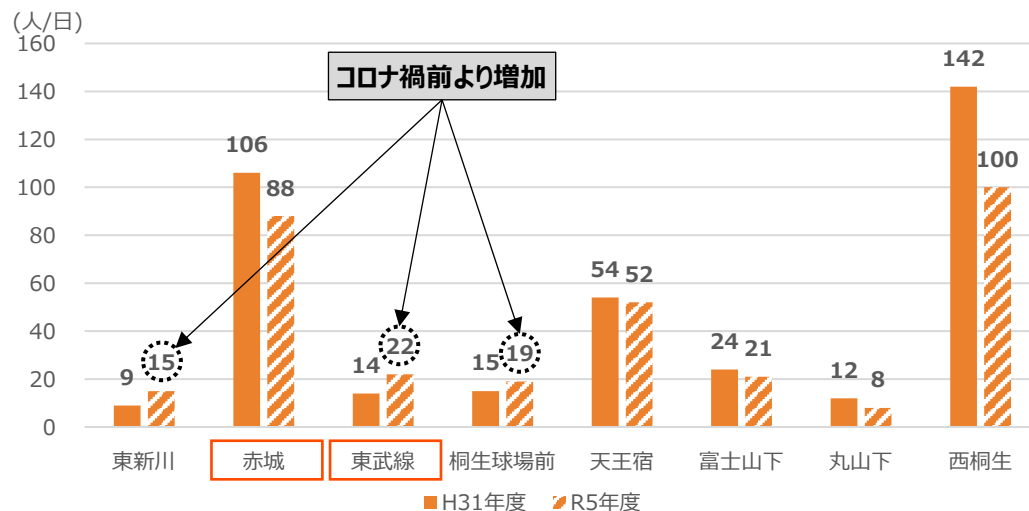
□ 年間乗降者数



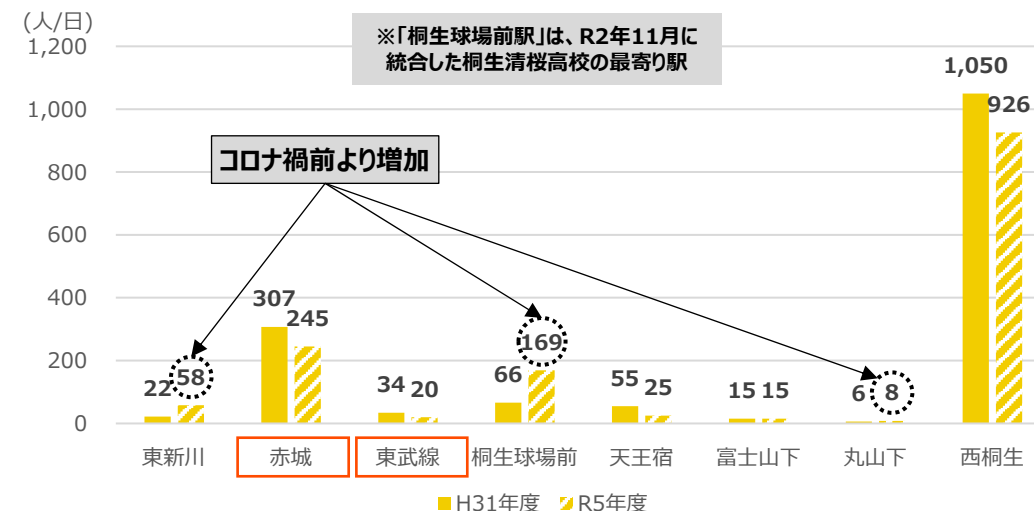
□【定期外】H31・R5年度の乗降者数【人/日】



□【定期(通勤)】H31・R5年度の乗降者数【人/日】



□【定期(通学)】H31・R5年度の乗降者数【人/日】



※赤城駅・東武線(乗換)の乗降者数は重複カウントしない

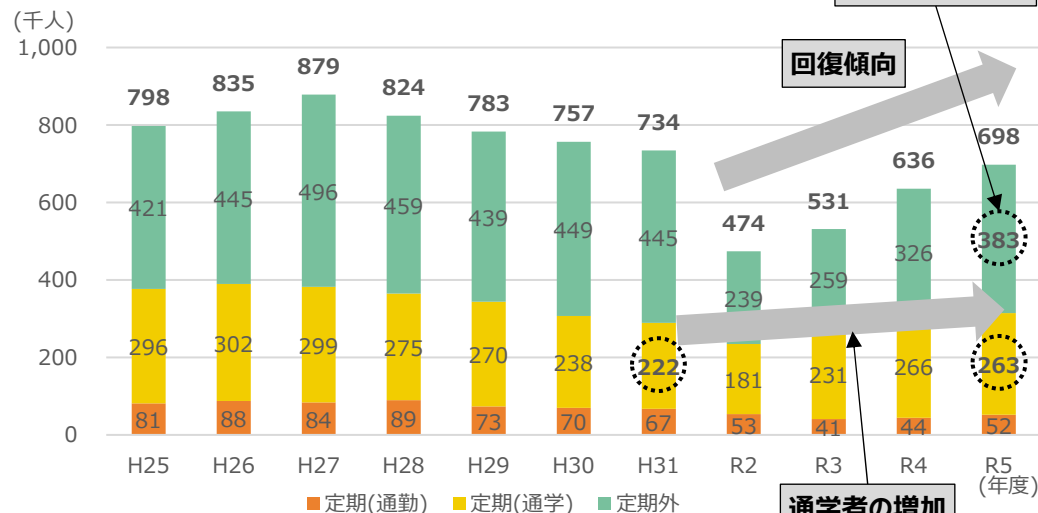
5) わたらせ溪谷鐵道

(2)交通特性

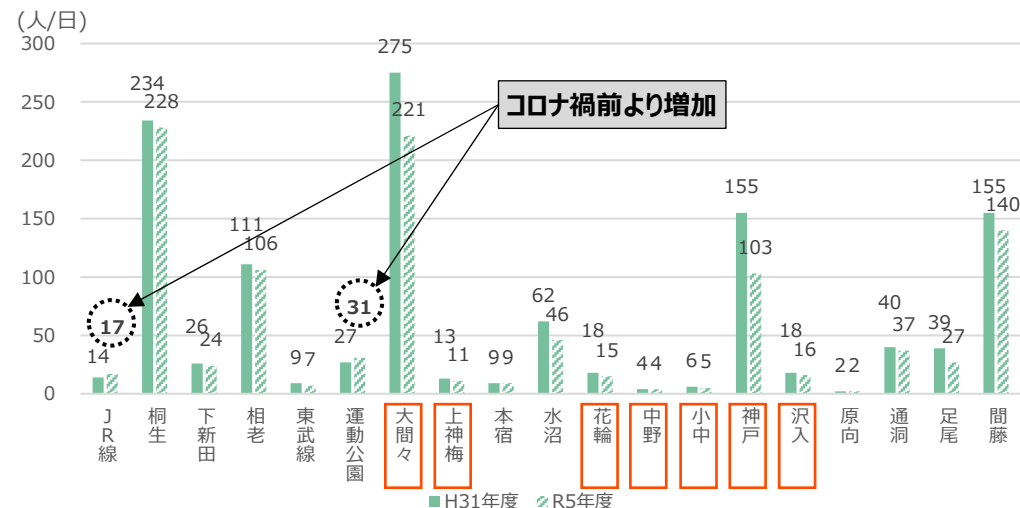
① 桐生駅～間藤駅の利用者動向

- 年間乗降者数は、R2年度からのコロナ禍により減少したが、R5年度ではH31年度に対して、約95%まで回復している。半数以上が定期外での利用、通学での利用が増加している。
- 駅ごとでは、コロナ禍前から減少しているものの、定期外でJRからの乗継・運動公園、通勤で花輪・神戸、通学で桐生・下新田・東武線からの乗継・運動公園・大間々がそれぞれ増加している。

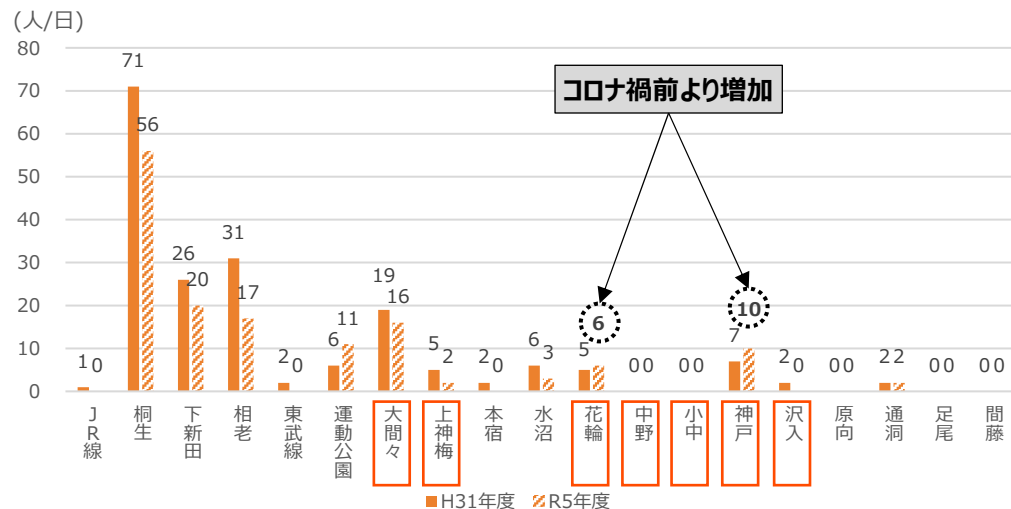
□ 年間乗降者数



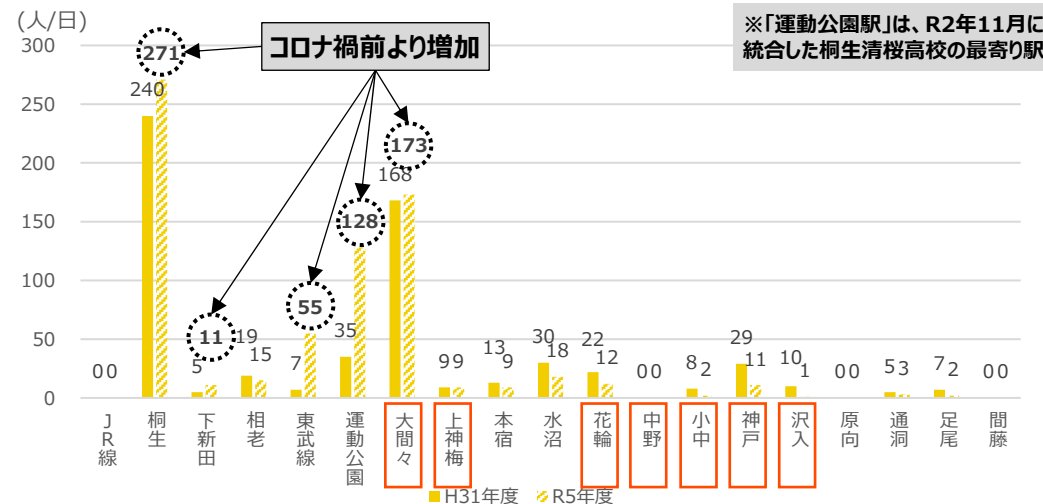
□ 【定期外】H31・R5年度の乗降者数【人/日】



□ 【定期(通勤)】H31・R5年度の乗降者数【人/日】



□ 【定期(通学)】H31・R5年度の乗降者数【人/日】



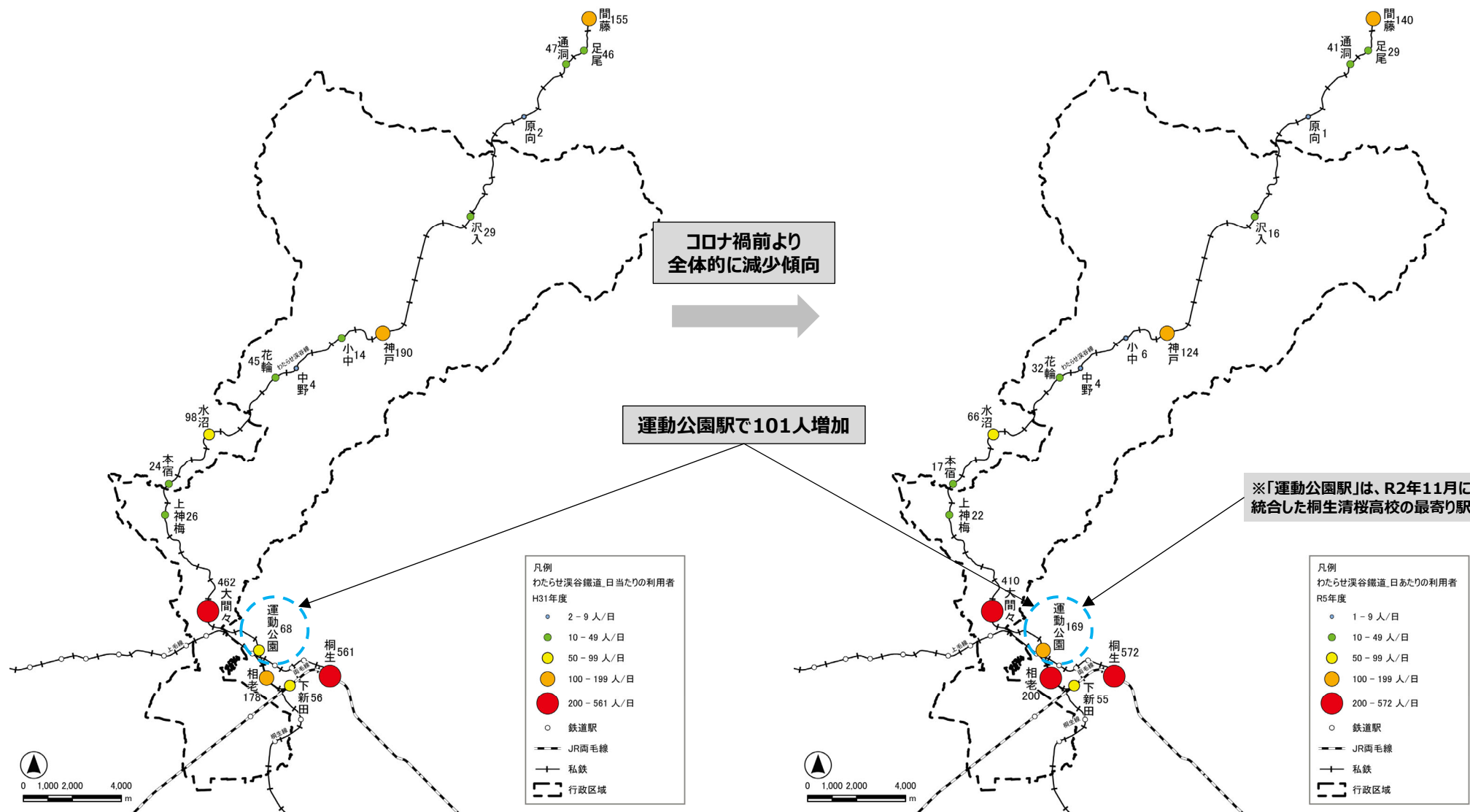
※相老駅・東武線(乗換)の乗降者数は重複カウントしない

②H31・R5年度の1日当たりの乗降者数

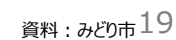
- 年間乗降者数は、R2年度からのコロナ禍により減少したが、R5年度ではH31年度に対して、約95%まで回復している。半数以上が定期外での利用、通学での利用が増加している。
- 駅ごとでは、コロナ禍前から減少しているものの、通勤で東武線からの乗継・桐生球場前、通学で東新川・桐生球場前がそれぞれ増加している。

□ H31年度

□ R5年度



(2)交通特性



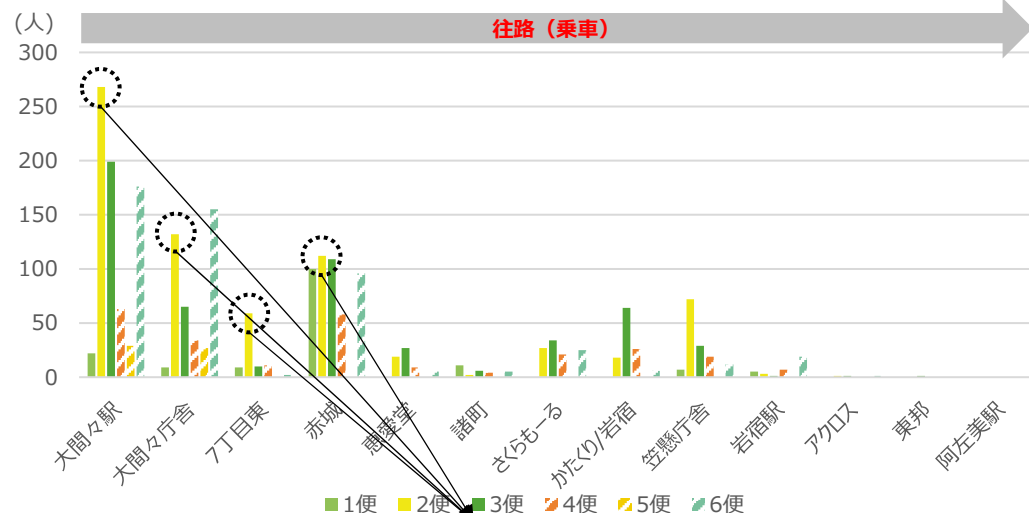
6) 大間々・笠懸路線バス

(2)交通特性

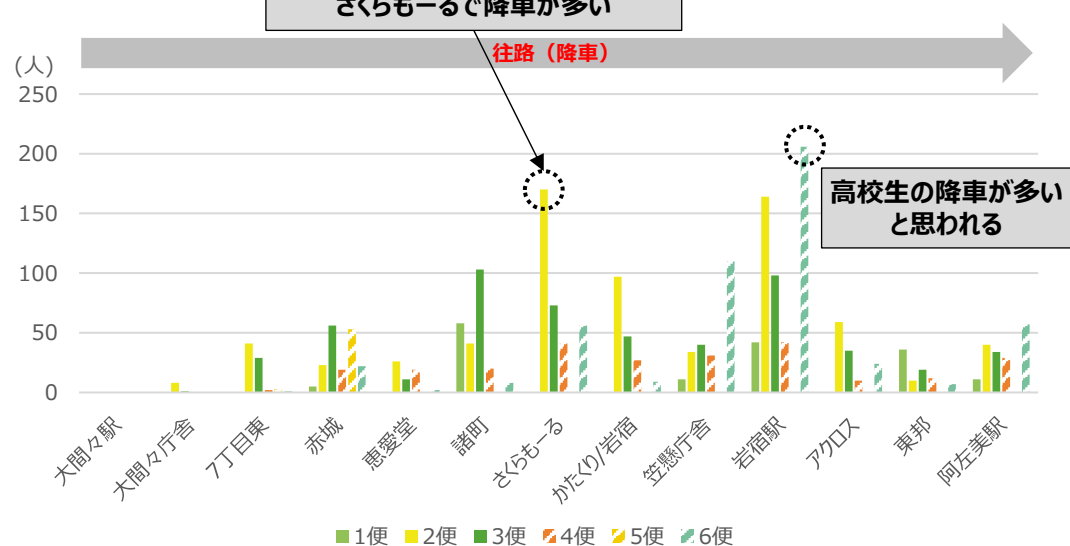
②便別の乗降者数（R6年4月～R6年9月 183日間）

- 往路は、2便の大間々駅～赤城駅で乗車し、さくらもーるで降車が多い。6便の岩宿駅での降車は、大間々高校生の利用が多いと思われる。
- 復路は、1便の岩宿駅・笠懸庁舎で乗車し、赤城駅・大間々庁舎・大間々駅で降車する大間々高校生の多いと思われる。

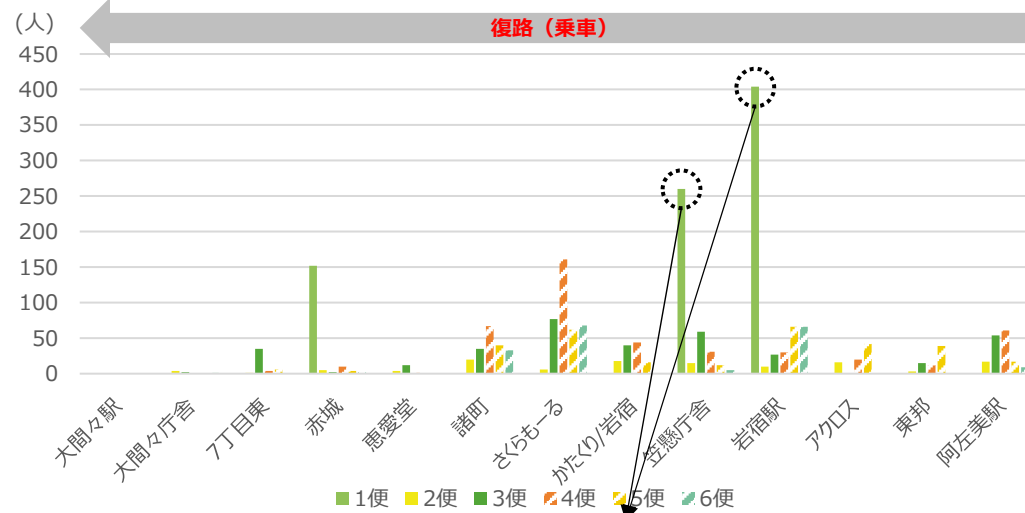
□【乗車】往路



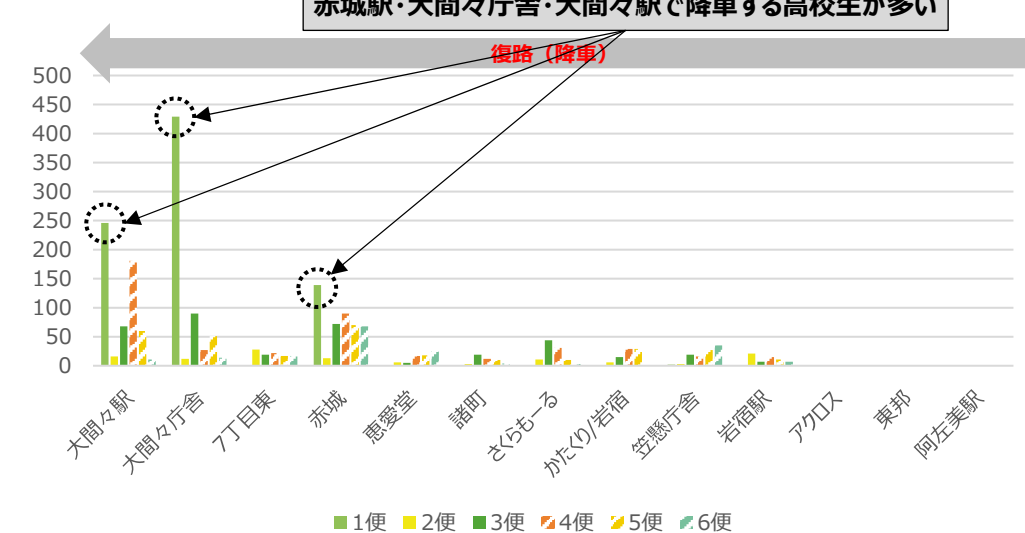
□【降車】往路



□【乗車】復路



□【降車】復路



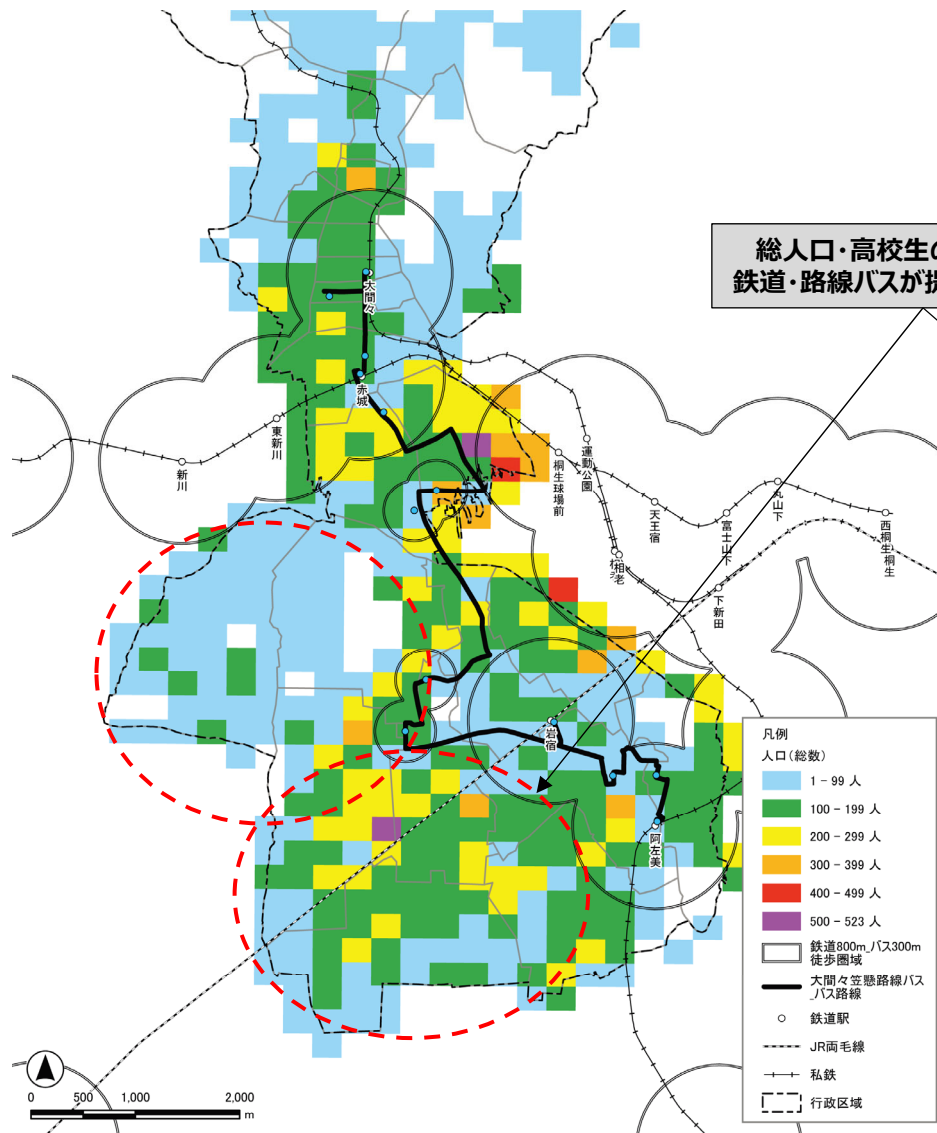
6) 大間々・笠懸路線バス

(2)交通特性

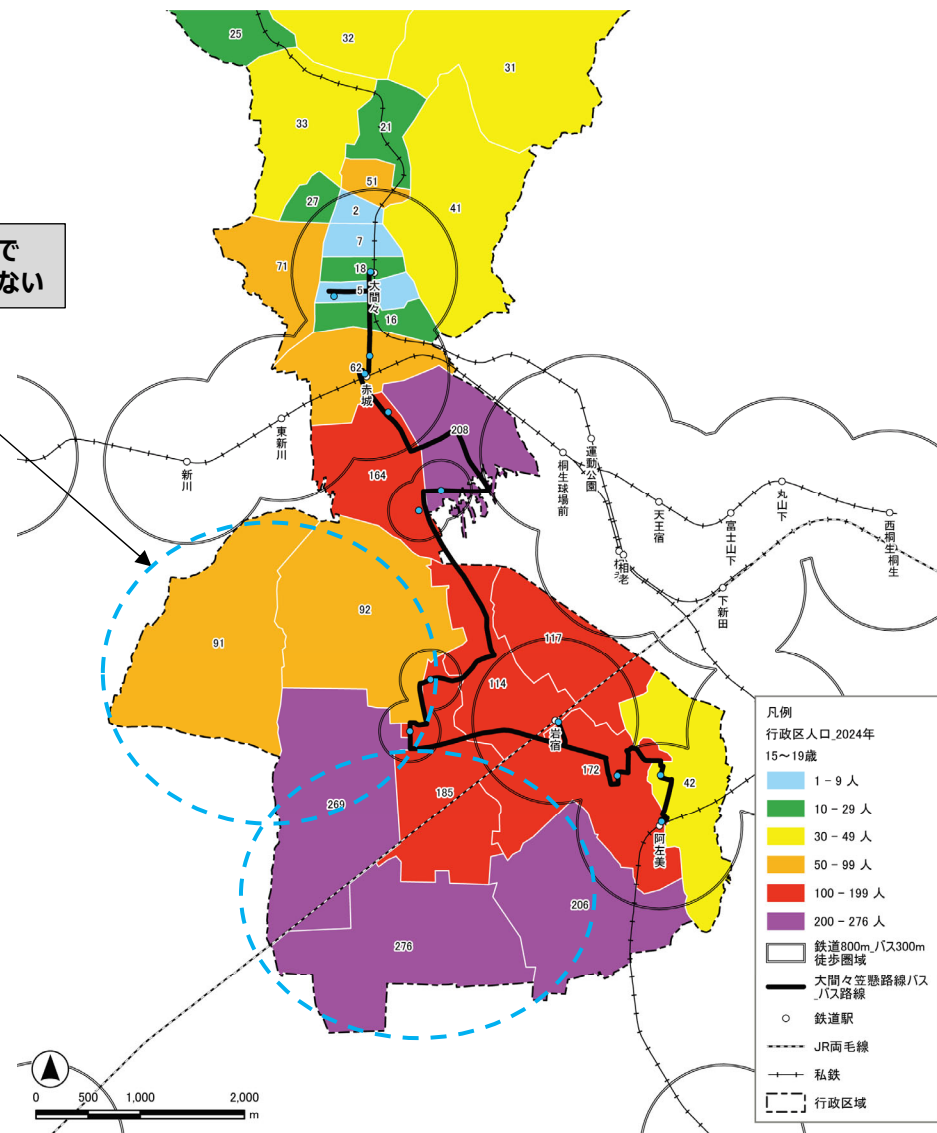
③公共交通空白地の状況

●徒歩圏域（鉄道800m、バス停300m）外で総人口、15～19歳人口が多いが、鉄道・路線バスが提供されていない。

□ 総人口（250mメッシュ）



□ 15～19歳の人口（行政区別）



7) 東町路線バス

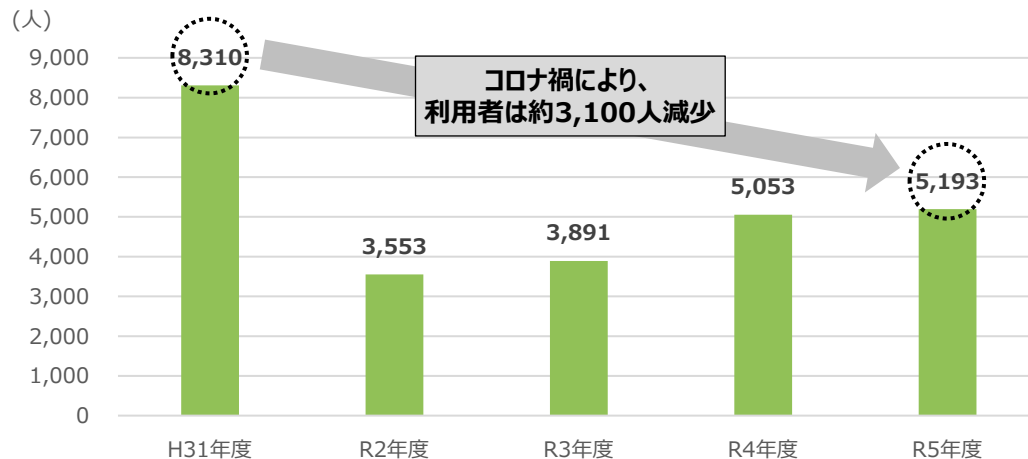
(2)交通特性

①概要

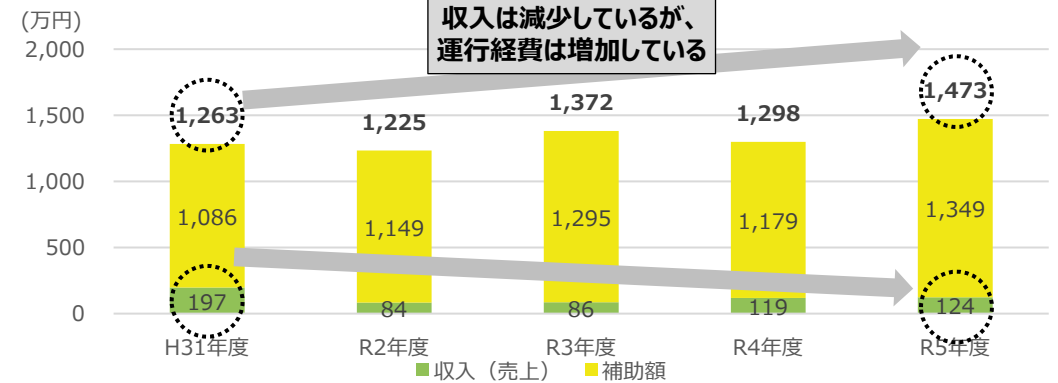
□ 運行状況

事業者	・ みどり市（委託：赤城観光自動車(株)）		
運行区間・便数	・ 小中 追付橋～神戸駅	上下1便	
	・ 二区集会所線 神戸駅～あずま小学校	循環1便	
	・ 花輪線 花輪駅～神戸駅	上下1便	
	・ 美術館線 神戸駅～富弘美術館	上下8便	
	・ 沢入線 沢入駅～神戸駅	上下3便	
便数	・ 往路復路ともに6便		
登録車両数	・ 2台		
市民の利用	・ 角屋前から通勤での利用		
観光客の利用	・ 富弘美術館への利用		
	・ サンレイク草木への利用（休館前）		

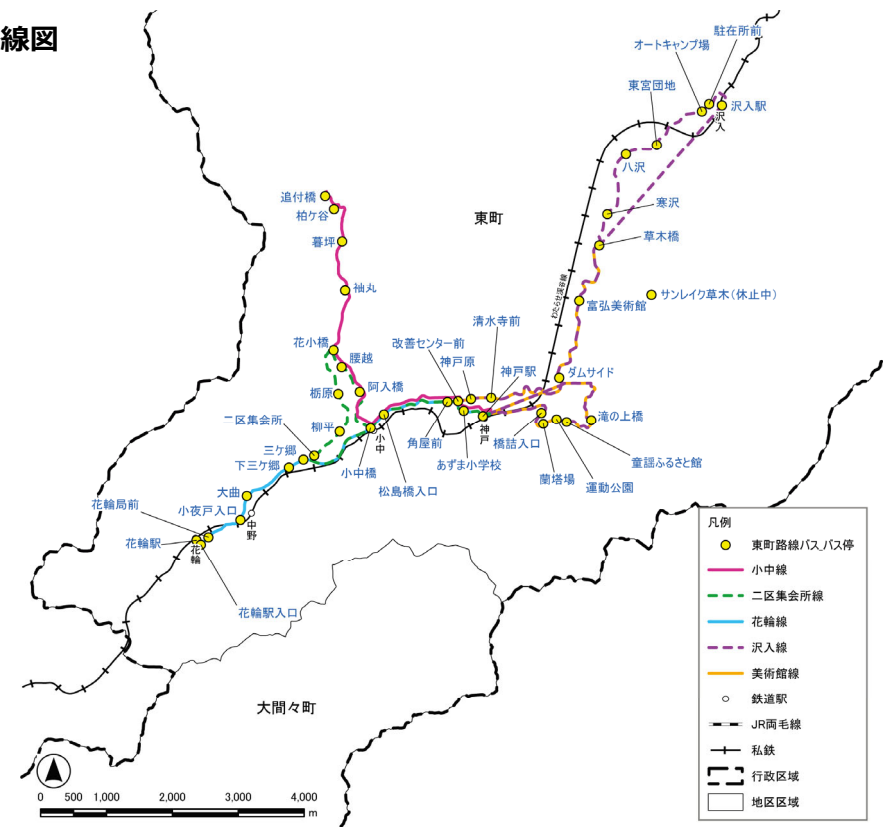
□ 利用者の推移



□ 運行経費の推移



□ 路線図



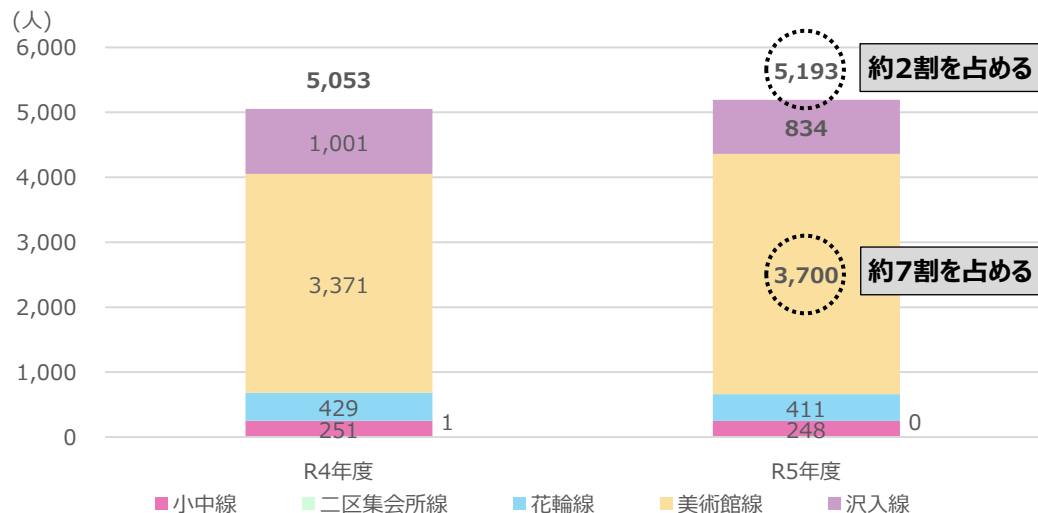
7) 東町路線バス

(2)交通特性

②乗降者数の状況

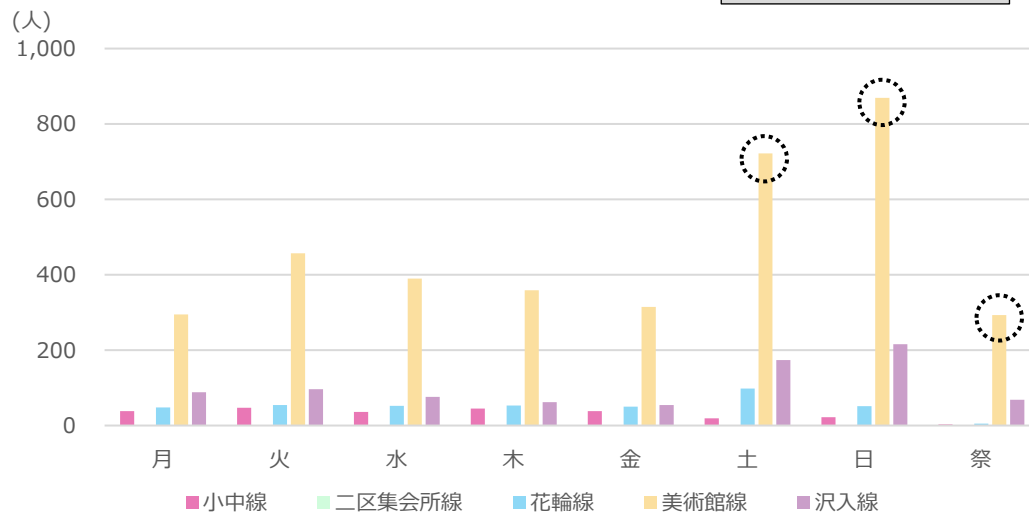
- 年間乗降者数は、美術館循環線で約7割を占め、次いで沢入線で約2割を占めている。
- 美術館線を中心に、11月の土日祭日に利用されている。

□ 年間乗降者数

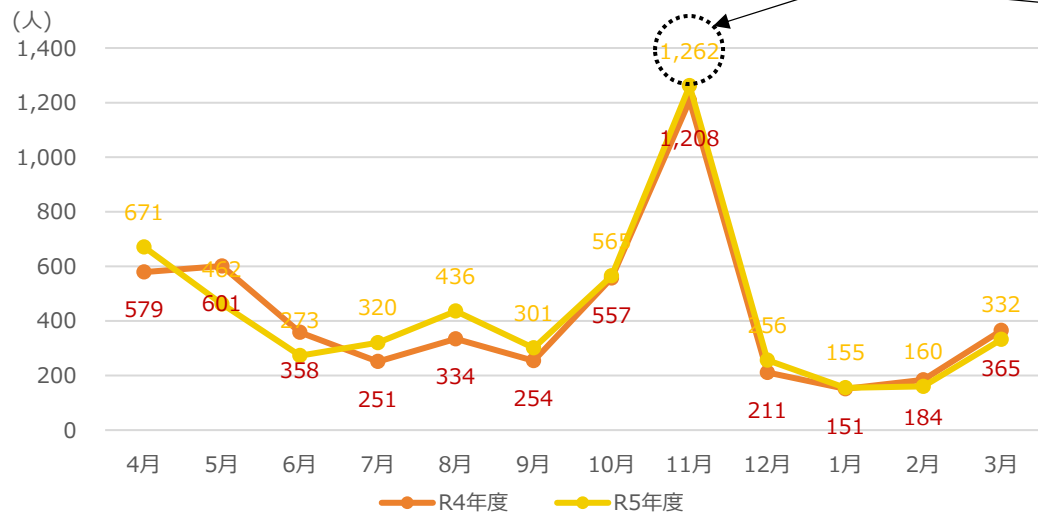


□ 曜日別の乗降者数 (R5年度)

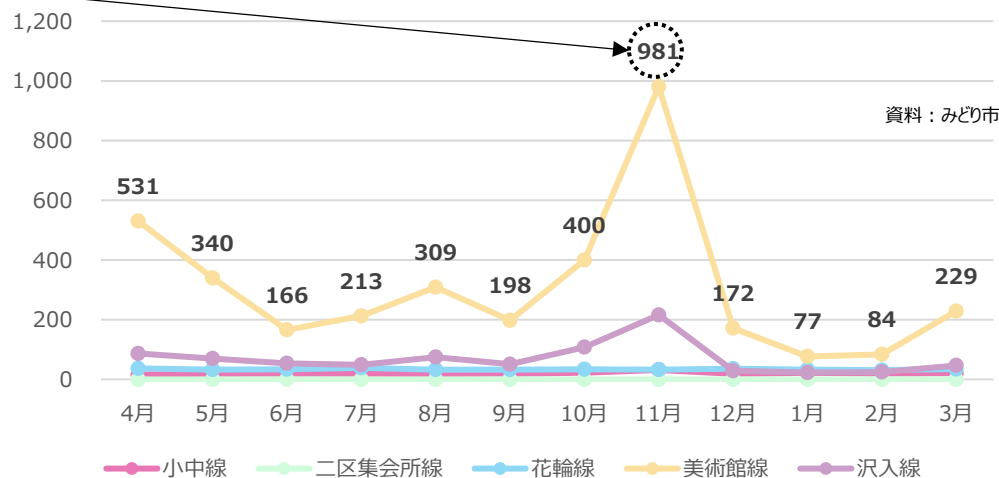
休日での利用が主となる



□ 月別の乗降者数



□ 月別・路線別の乗降者数 (R5年度)



8) 電話でバス

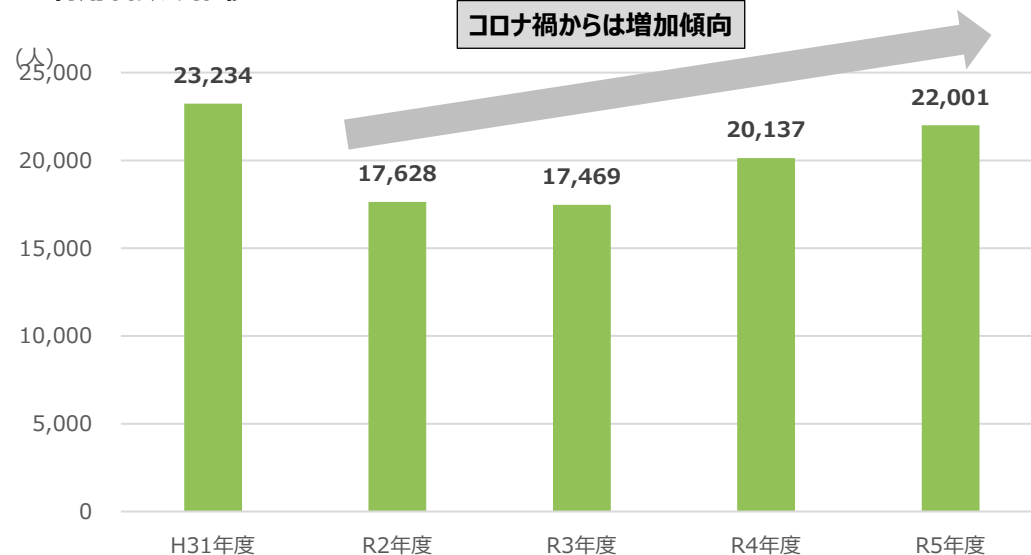
(2)交通特性

①概要

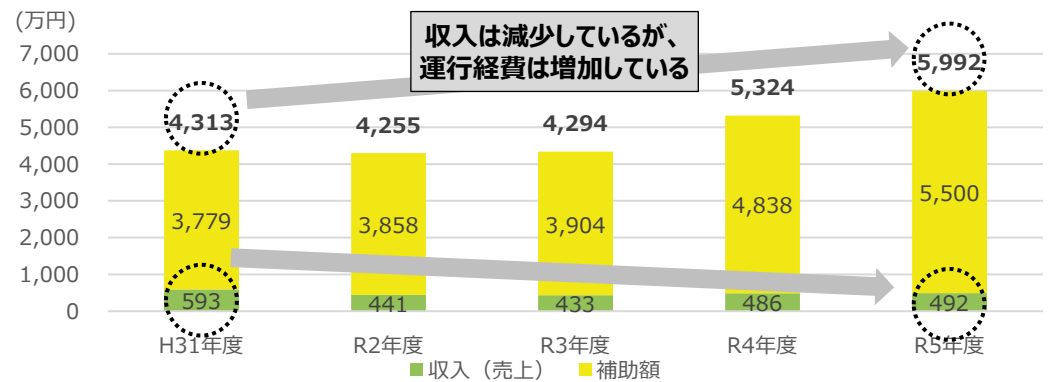
□ 運行状況

事業者	・ みどり市（委託：赤城観光自動車(株)）
運行エリア	・ 笠懸町 ・ 大間々町
バス停数	・ 笠懸町：95か所 ・ 大間々町：134か所 合計：235か所 ・ 桐生市：6か所
登録車両数	・ 6台
市民の利用	・ さくらもーる・ベイシア・ヤオコー・つるや等のスーパーへの利用 ・ パチンコ店への利用 ・ 8時・9時代で高齢者の病院への利用
観光客の利用	・ 小平鍾乳洞・親水公園への利用

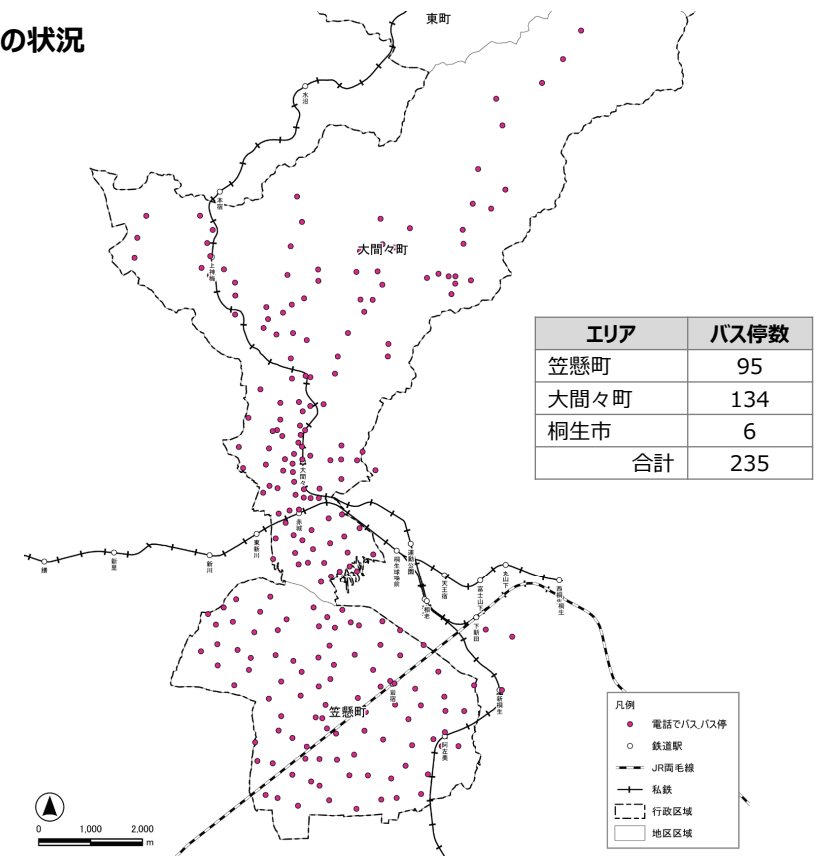
□ 利用者数の推移



□ 運行経費の推移



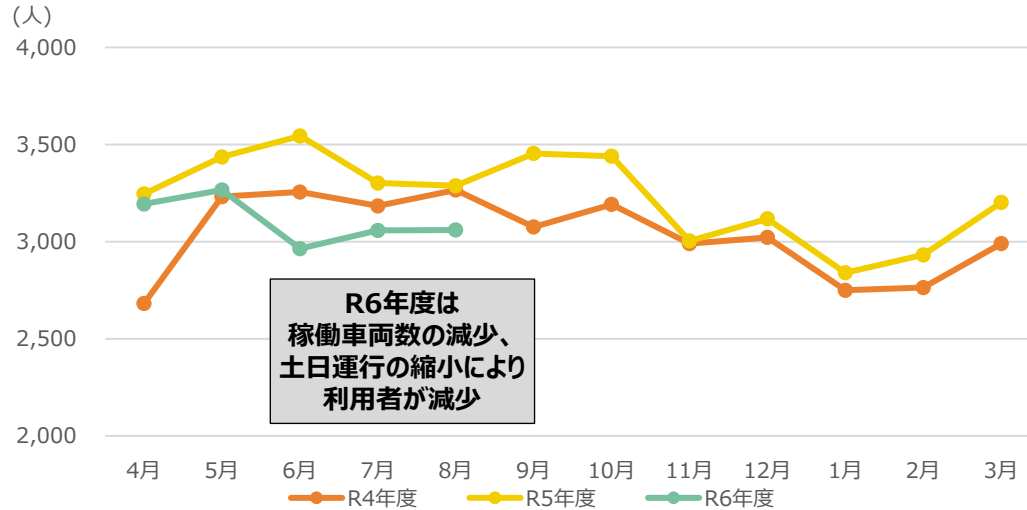
□ バス停の状況



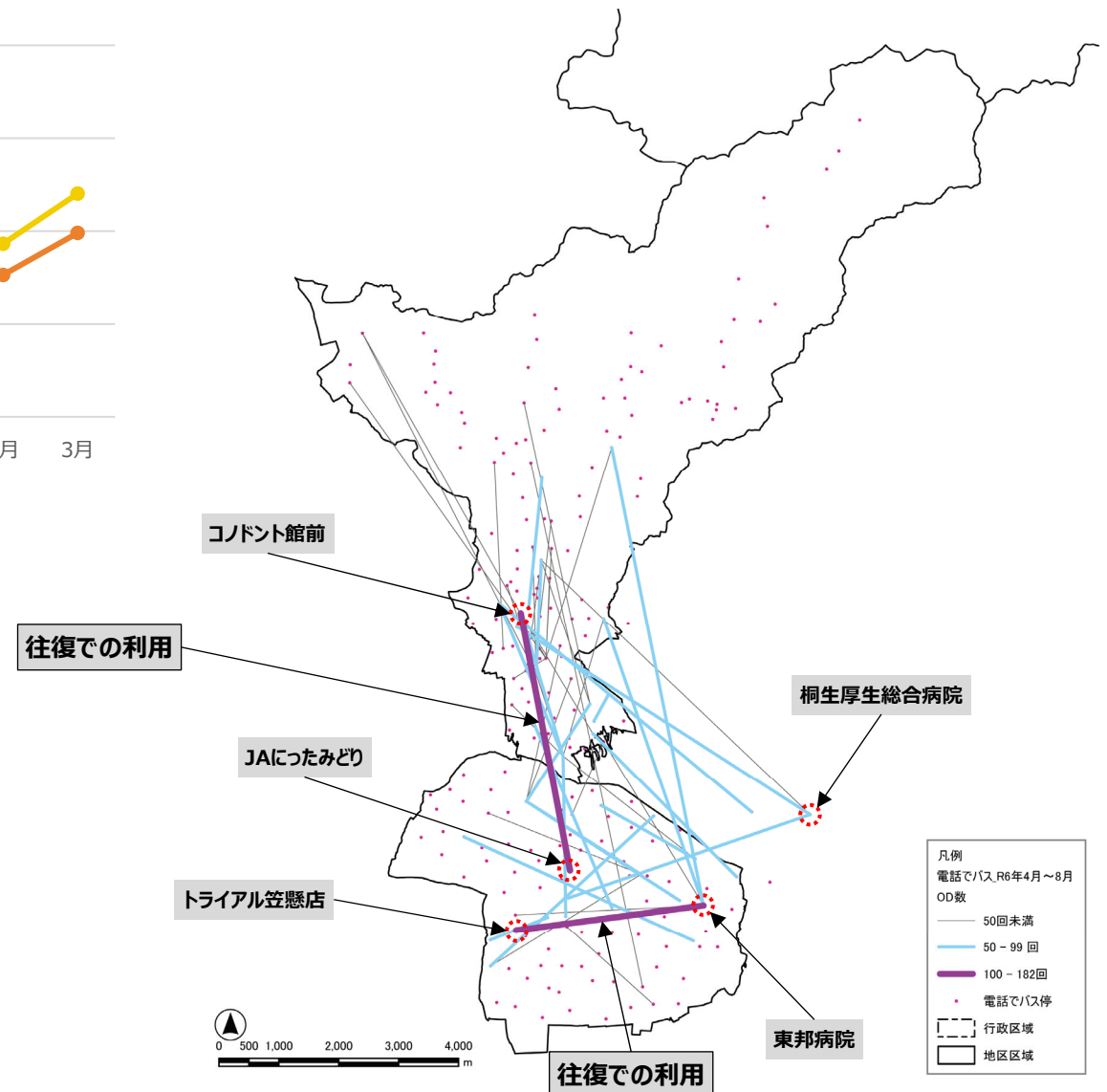
③利用状況

- 月別の運行回数の推移を見ると、R5年度の6月が最も運行回数が多い。R6年度はR4・5年度を下回り、推移をしている。
- 移動状況を見るとトライアル笠懸店から東邦病院、コノドント館前からJAIにたみどりでの移動が多く見られる。また病院での利用で、東邦病院や桐生厚生総合病院での移動が多く見られる。
- 大間々町と笠懸町を跨ぐ移動が多く見られる。

□ 月別の運行回数



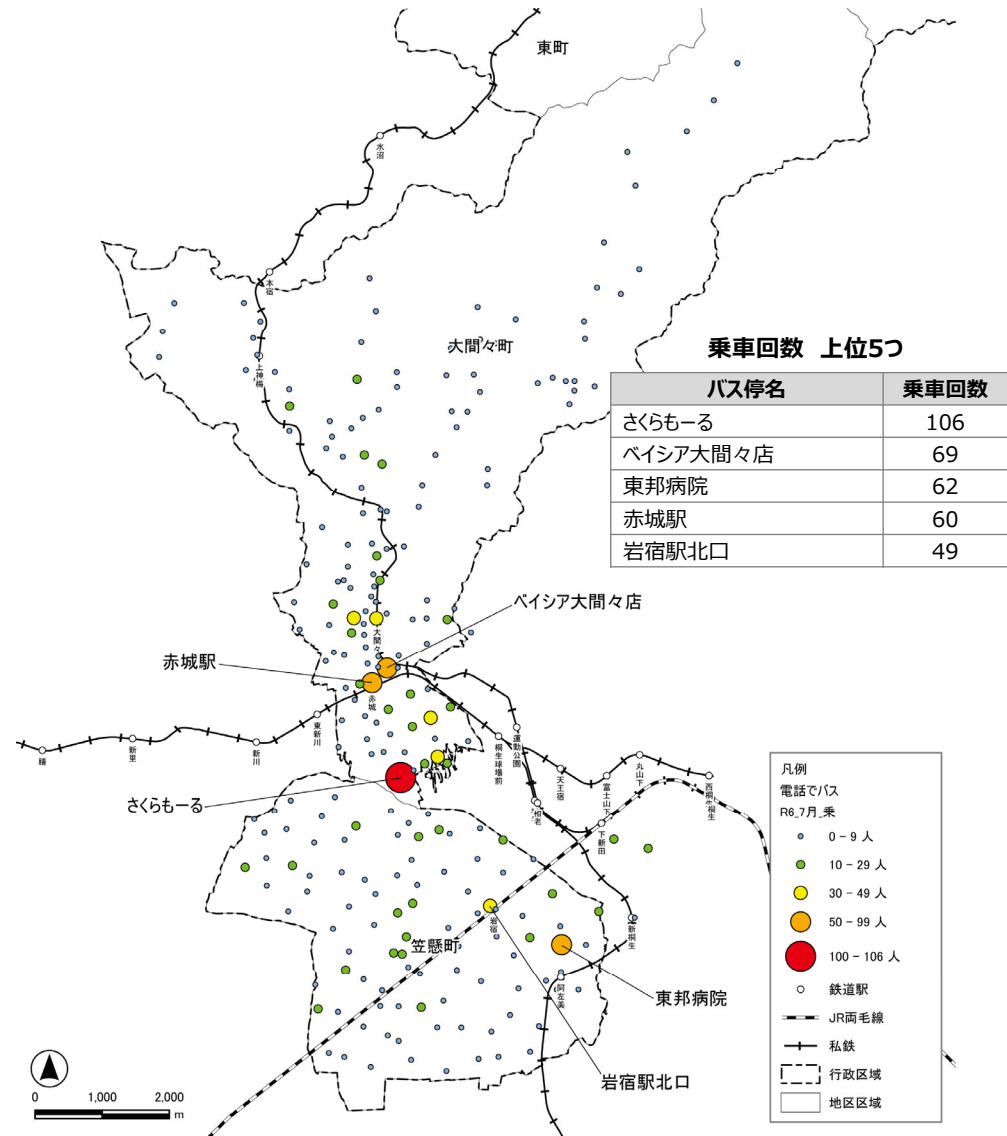
□ R6年4月～8月の移動状況



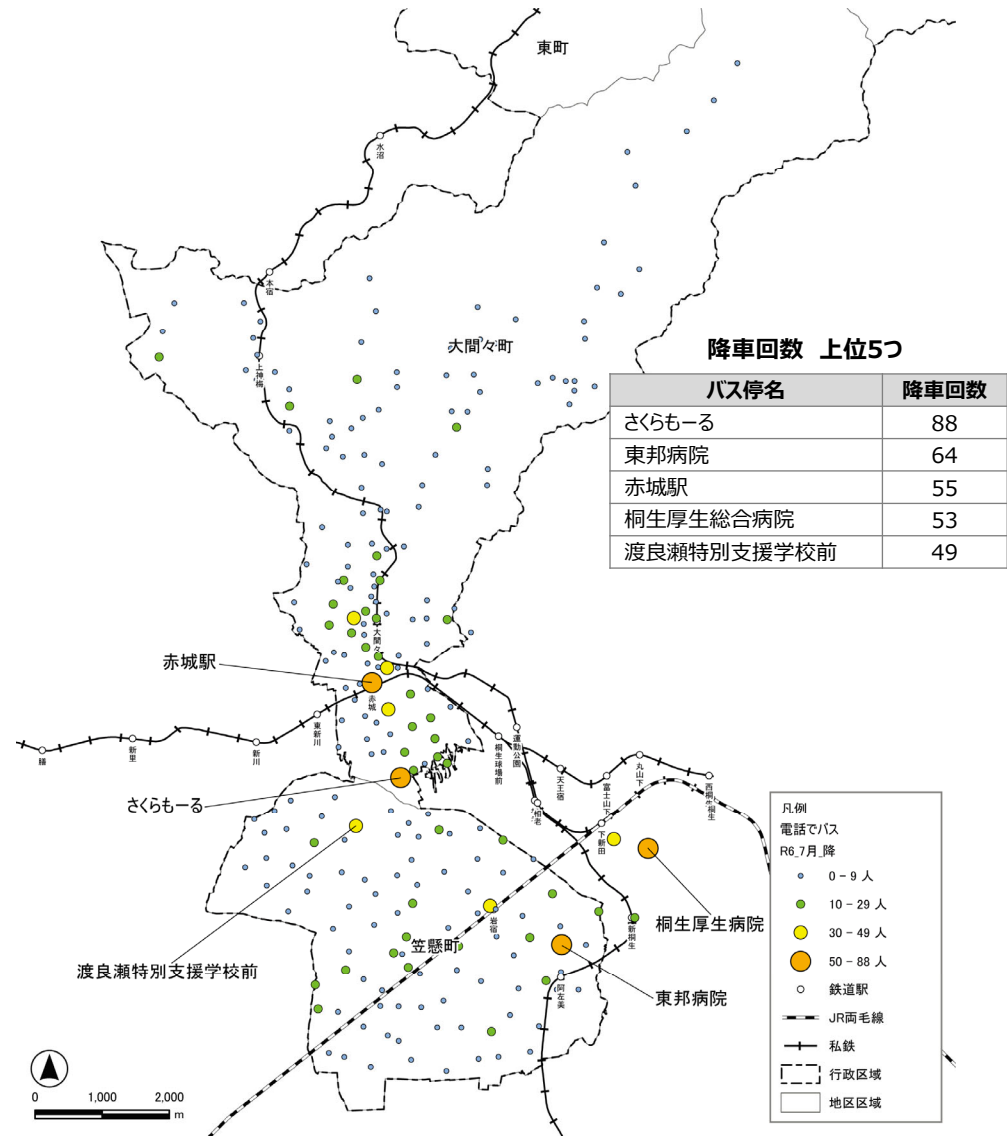
④2024年7月のバス停別の利用状況

- 2024年7月の利用状況を見ると、さくらもーる・東邦病院・赤城駅は、往復での利用が見られる。
- ベシア大間々店では乗車が多く、また桐生厚生病院・渡良瀬特別支援学校前では降車が多いため、他の手段を利用していると考えられる。

□ 乗車回数



□ 降車回数



9) タクシー

(2)交通特性

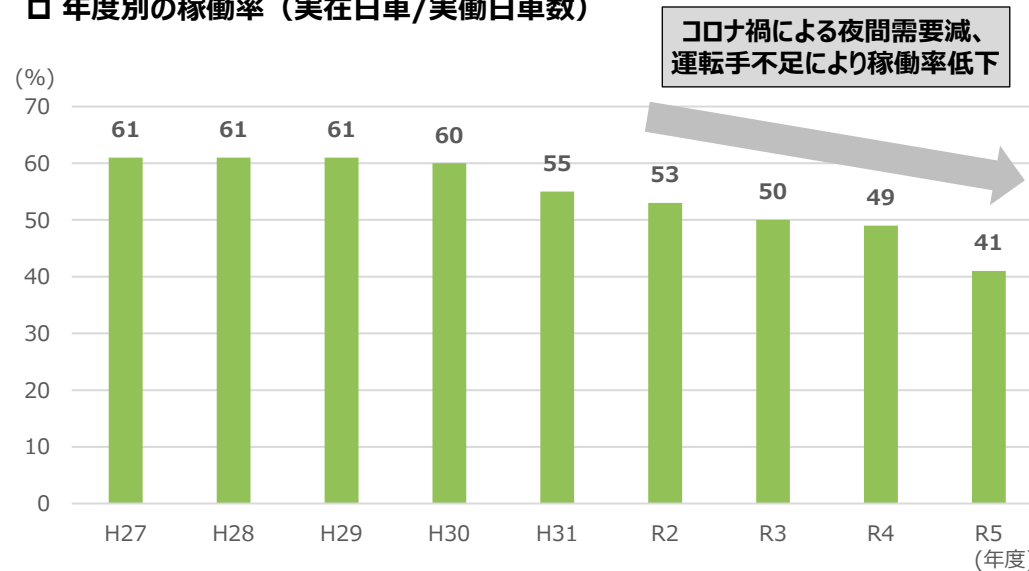
①事業概要

□ 運行状況

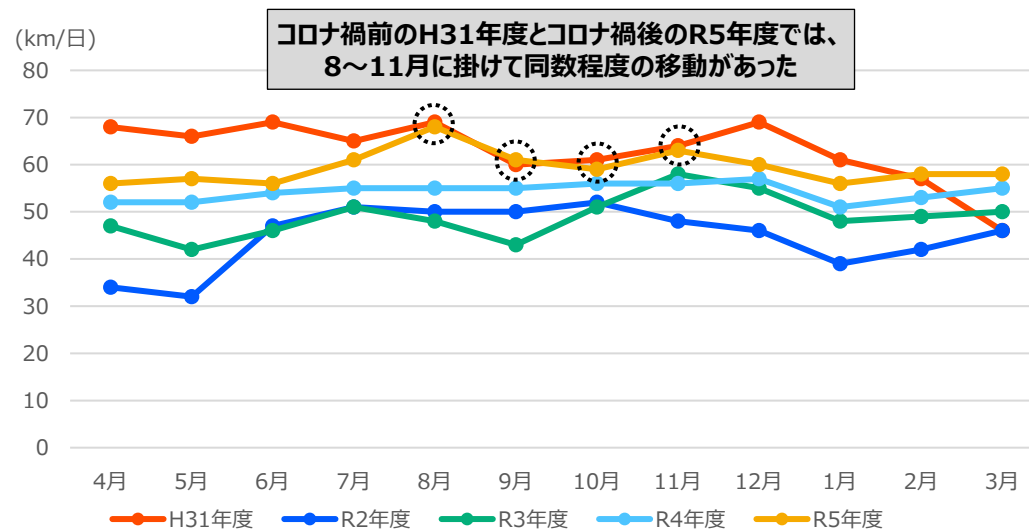
事業者	- 沼田屋タクシー(株) - 桐生合同自動車(株) (沼田屋タクシー(株)の子会社)
車両数	34台
運行エリア	東毛地域
市内の主な利用者	- 自宅から病院(特に厚生病院・恵愛堂)までの利用 - 高齢者の病院・買い物等での利用7～8割を占める

②利用状況 (沼田屋タクシー)

□ 年度別の稼働率 (実在日車/実働日車数)



□ 1日当たりの走行距離 (実車距離/実働日車数)



10) スクールバス（あずま小中学校）

①事業概要

□ 運行状況

事業者	・ みどり市（委託：大新東(株)前橋営業所）
契約形態	・ 運転手+市より車両貸与
対象	・ あずま小中学校に通学し、神戸地区を除く東地区全学区に在住する児童・生徒 ・ その他、みどり市教育委員会・学校が必要と認めるもの
車両数	・ 2台
運行エリア	① 花輪～神戸地区 ② 座間～沢入地区

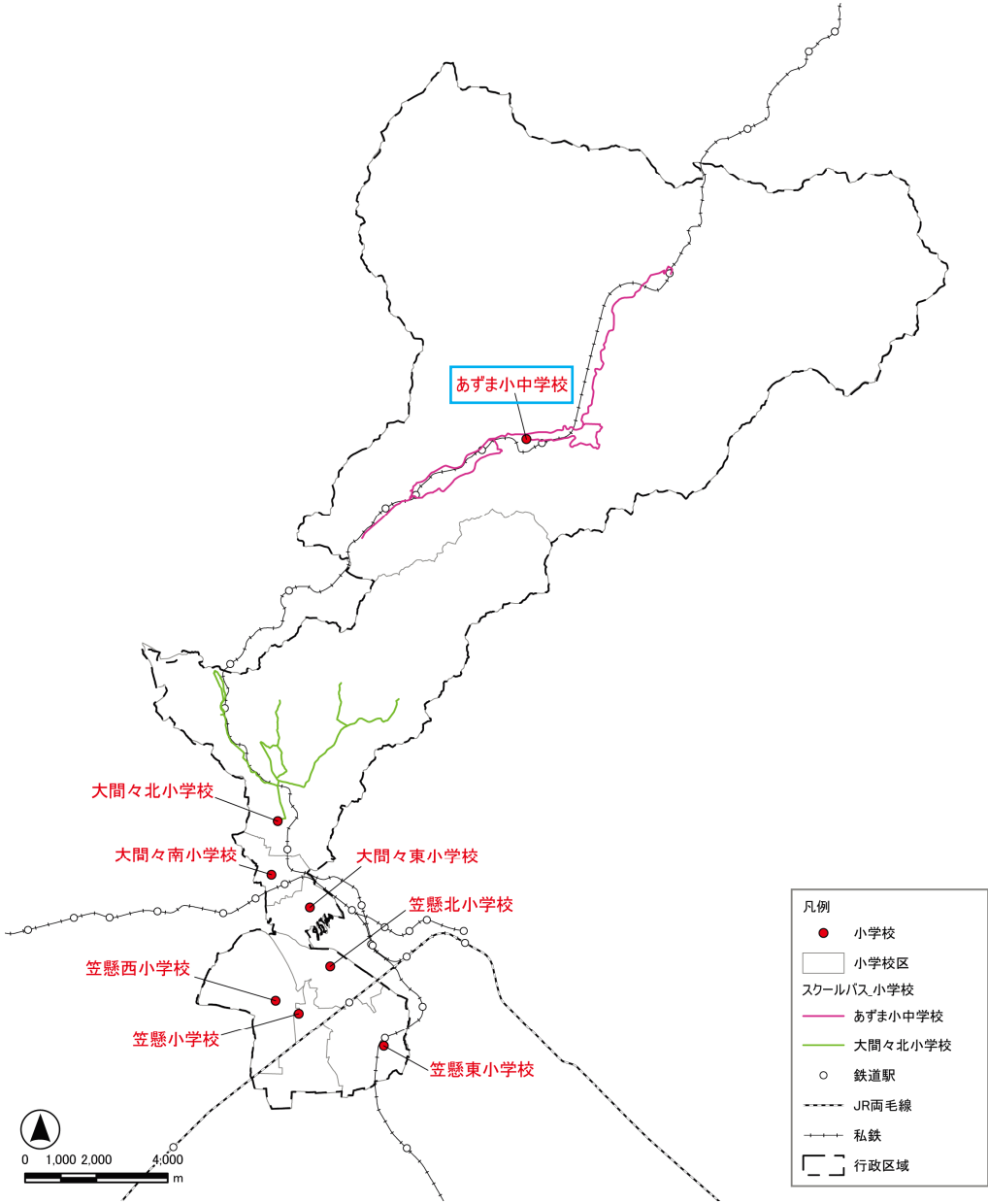
□ 利用状況

運行 エリア	乗車定員	乗車人員				
		R3末	R4末	R5末	R6.8月	R7見込
①	57(大型)	10	18	15	16	16
②	10(小型)	5	3	3	6	4

□ 運行時間

運行 エリア	課程	登校時	下校時					
			月	火	水	木	金	
①	前期	7:15～	15:25～	14:45～、15:45～、				
	後期			15:30～、15:45～、17:00～				
②	前期	7:25～		14:45～、15:45～、				
	後期			15:30～、15:45～、17:00～				

□ 路線図



10) スクールバス（大間々北小学校）

(2)交通特性

①事業概要

□ 運行状況

事業者	・ みどり市（委託：山陽自動車(株)群馬営業所）
契約形態	・ 運転手+市より車両貸与
対象	・ 福岡大橋以北に在住し、大間々北小へ通学する児童 ・ その他、みどり市教育委員会・学校が必要と認めるもの
車両数	・ 4台
運行エリア	① 神梅地区（旧神梅小学校） ② 塩沢、塩原地区（旧福岡西小学校） ③ 穴原地区（旧福岡西小学校） ④ 福岡中央地区（旧福岡中央小学校）

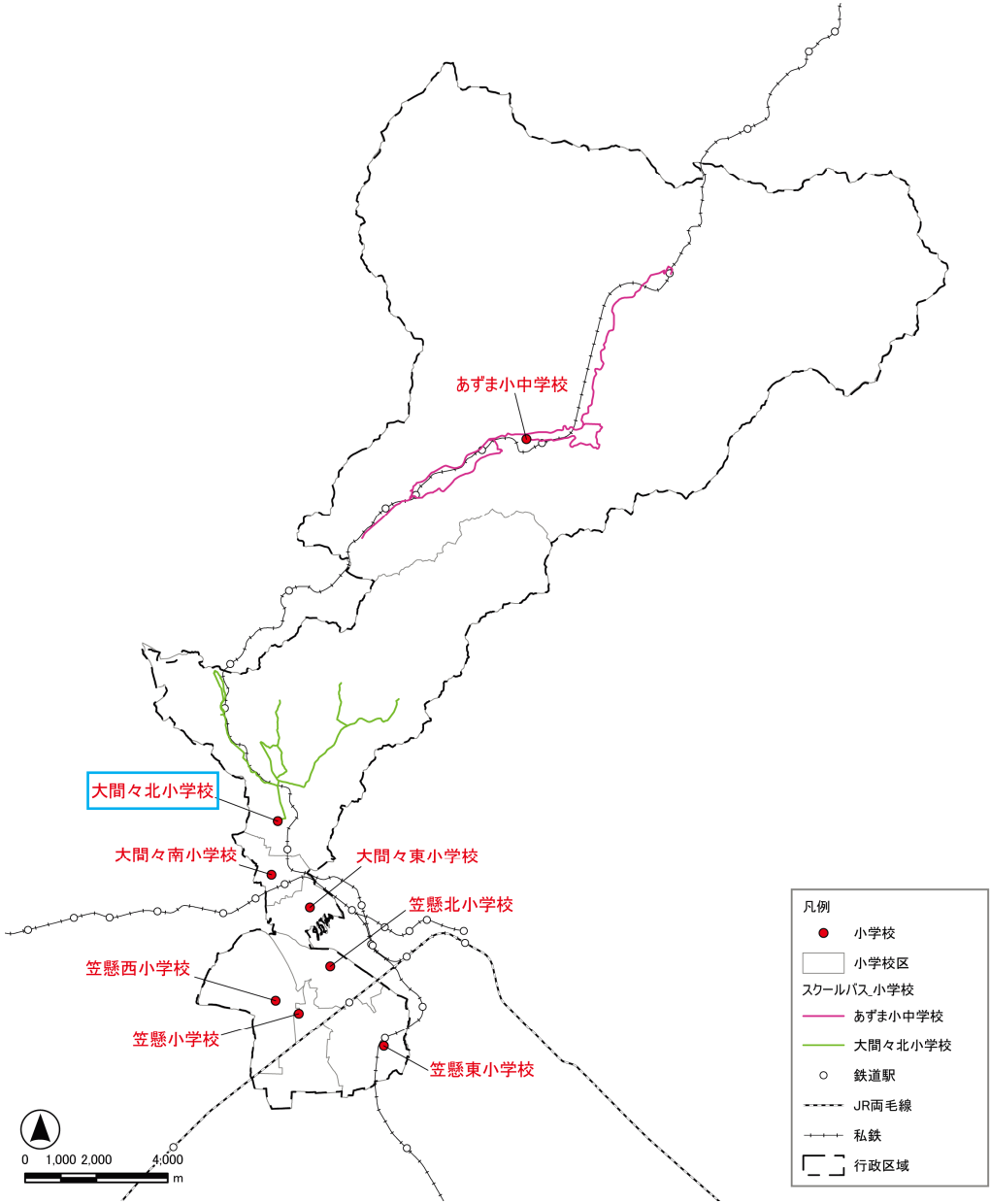
□ 利用状況

運行 エリア	乗車定員	乗車人員				
		R3末	R4末	R5末	R6.8月	R7見込
①	29(小型)	18	17	16	11	15
②	29(小型)	14	15	15	22	19
③	29(小型)	11	11	12	12	10
④	29(小型)	10	6	9	11	11

□ 運行時間

運行 エリア	登校時	下校時	
		1～3年	4～6年
①	7:40～	15:00～	15:50～
②	7:50～		
③	7:45～		
④	7:25～		

□ 路線図



①事業概要

□ 運行状況

事業者	・ みどり市（委託：赤城観光自動車(株)）
契約形態	・ 運転手のみ
対象	・ 福岡大橋以北の小平地区、浅原地区、塩原地区、神梅地区に在住の生徒 ・ その他、みどり市教育委員会・学校が必要と認めるもの
車両数	・ 1台
運行エリア	・ 福岡大橋以北の小平地区、浅原地区、塩原地区、神梅地区

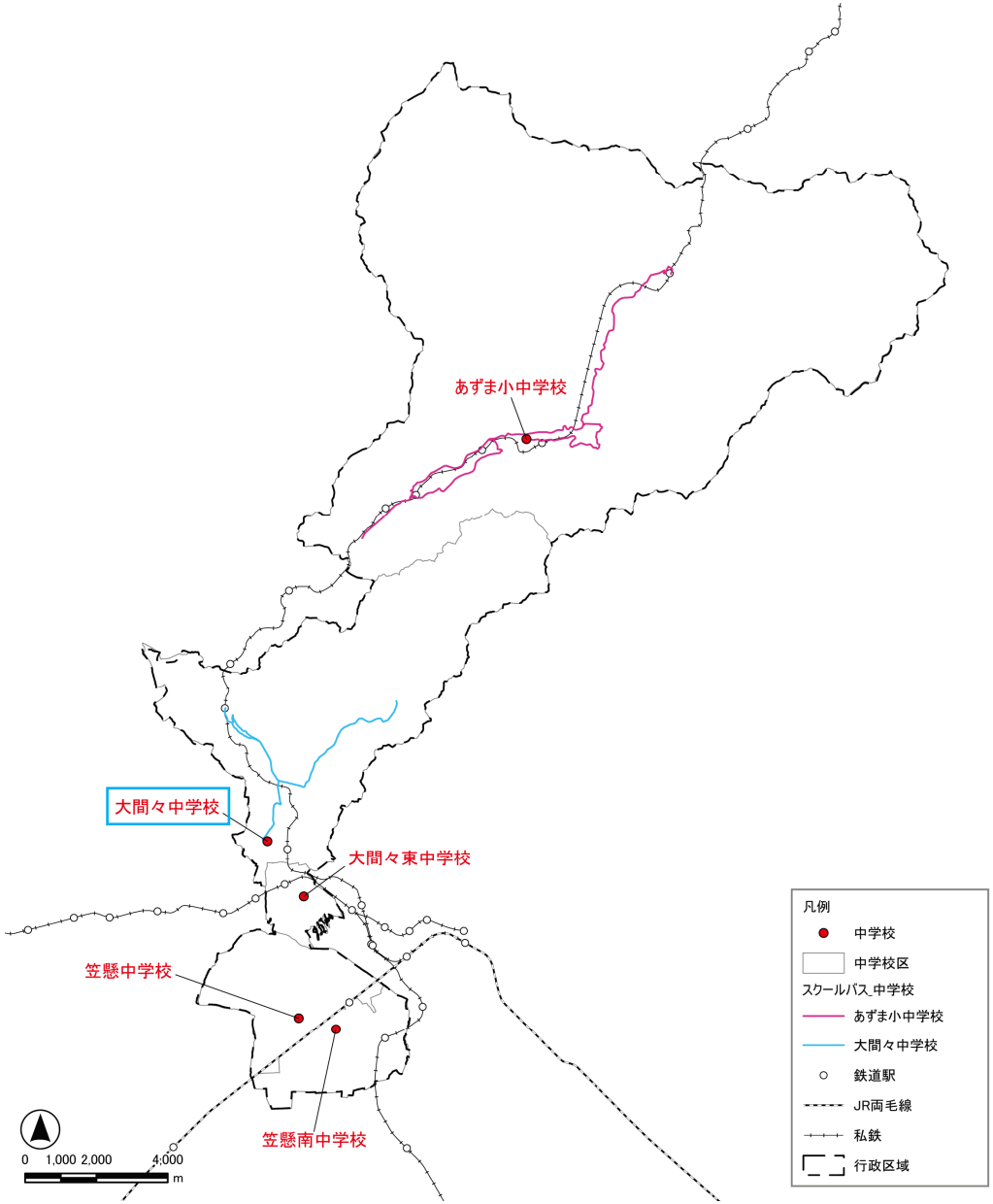
□ 利用状況

乗車定員	乗車人員				
	R3末	R4末	R5末	R6.8月	R7見込
55(大型)	42	40	25	24	20

□ 運行時間

		11・12・ 1月	10(後)・ 2月	10(前) 月	9(後)・ 3月	4・5・ 6・8・ 9(前)月	7月
登校時	朝練習	6:48～					
	通常登校	7:43～					
下校時	通常登校	16:10～					
	部活動あり	17:15～	17:30～	17:45～	18:00～	18:15～	18:45～

□ 路線図



①事業概要

□ 運行状況

事業者	・ 桐生大学		
対象	・ 桐生第一高校生 ・ 桐生大学生		
車両数	・ 3台		
運行区間・便数	・ 桐生第一高校→桐生駅→阿左美駅→桐生大学		
運行区間・便数	① 桐生第一高校→桐生駅→阿左美駅→桐生大学	8便	
	② 桐生大学→阿左美駅→桐生駅→桐生第一高校	8便	

□ 運行時間 (高校発→大学行)

便	高校	桐生駅	阿左美駅	大学
1	8:05	8:15	8:35	8:40
2	8:40	8:50		9:10
3			9:00	9:10
4	8:45	8:55		9:15
5	10:00	10:10	10:30	10:40
6	12:25	12:35	12:55	13:05
7	14:20	14:30	14:45	14:55
8	15:50	16:00	16:25	16:35

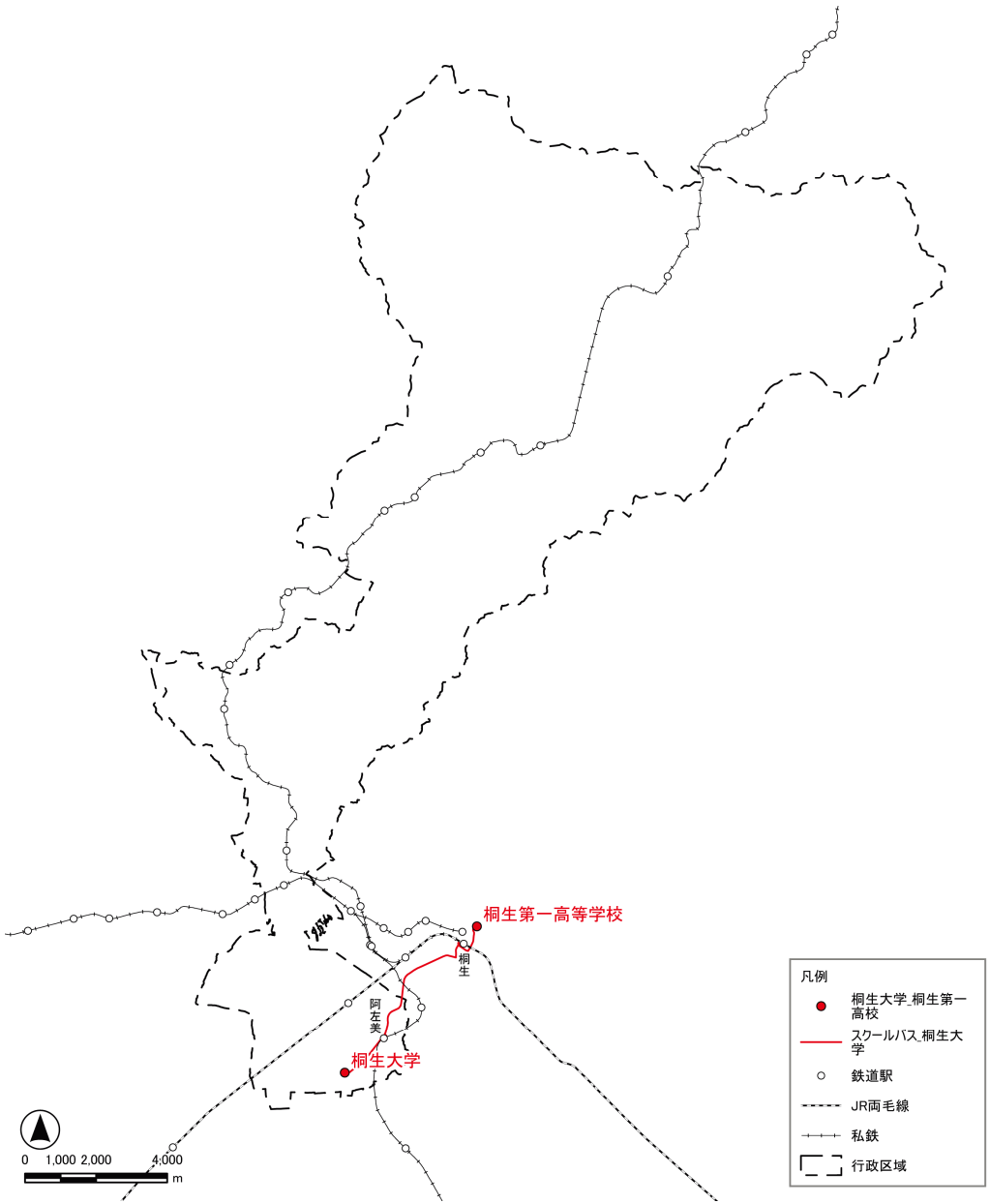
※上記の他、錦町（周東旗幕店前）・新桐生駅（ファインフィット）を經由

□ 運行時間 (大学発→高校行)

便	大学	阿左美駅	桐生駅	高校
1	11:05	11:10	11:30	11:35
2	12:40	12:45	13:05	13:10
3	15:05	15:10	15:30	15:35
4	16:40	16:45	17:05	17:10
5	16:45	16:50	17:10	17:15
6	18:15	18:20	18:40	18:45
7	18:25	18:30	18:50	18:55
8	20:05	20:10	20:30	20:35

※上記の他、錦町（周東旗幕店前）・新桐生駅（ファインフィット）を經由

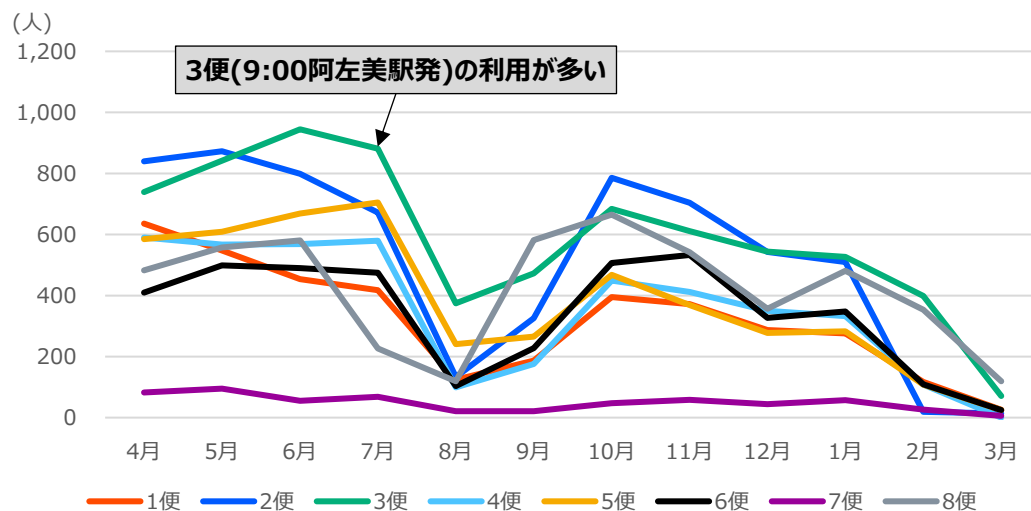
□ 路線図



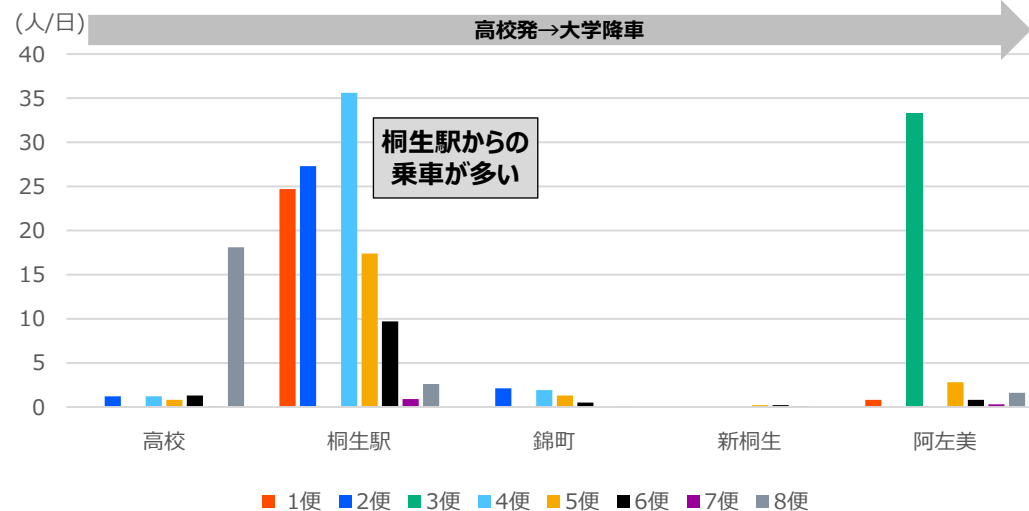
②利用状況

- R5年度の高校発→大学降車の利用者を見ると、6月が多く、3便(9:00阿左美駅発)の利用者が多い。大学乗車→高校行の利用者を見ると、4便(16:40大学発)の利用者が多い。
- R6年6月の高校発→大学降車を見ると、4便(8:45高校発)の桐生駅からの乗車が多い。大学乗車→高校行を見ると、4便(16:40大学発)の桐生駅での降車が多い。

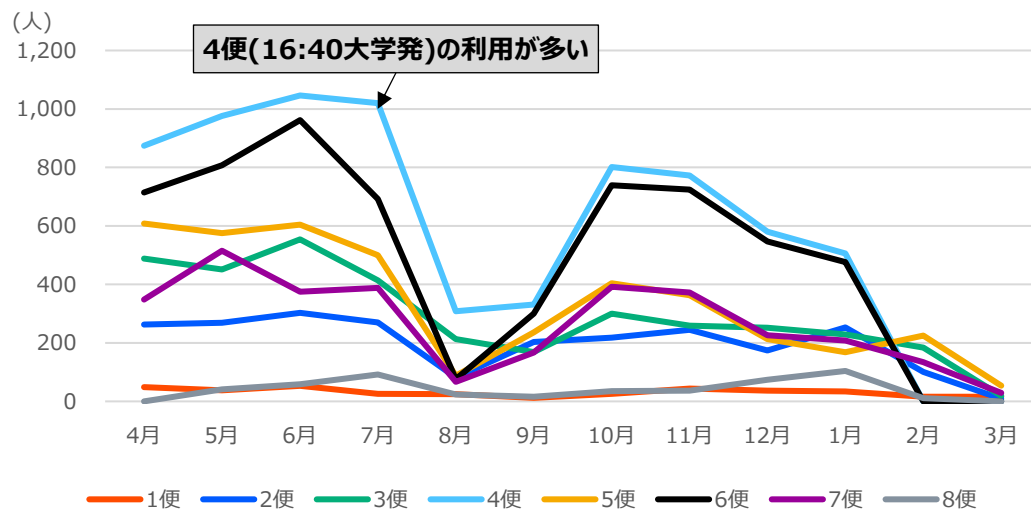
□【高校発→大学降車】R5年度の利用者数



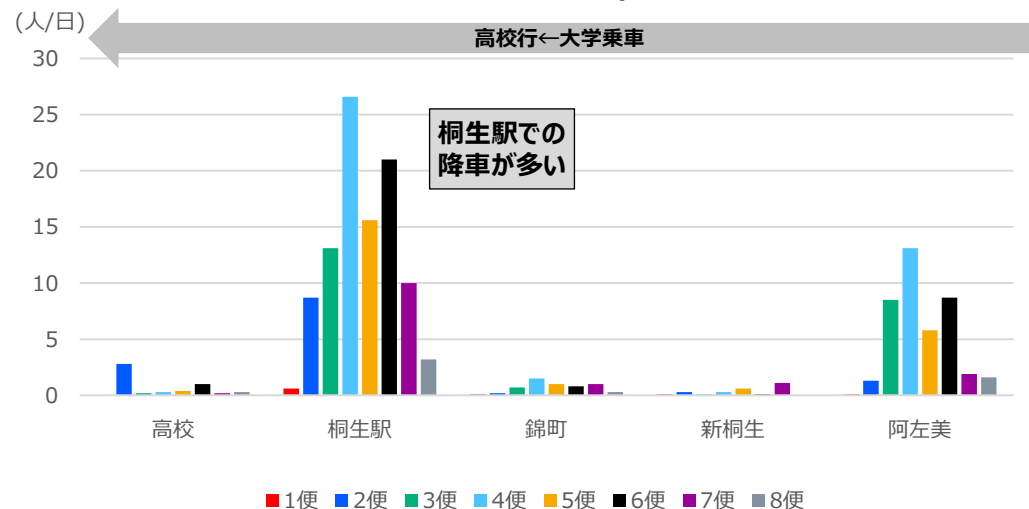
□【高校発→大学降車】R6年6月の乗車数【人/日】



□【大学乗車→高校行】R5年度の利用者数



□【大学乗車→高校行】R6年6月の降車数【人/日】



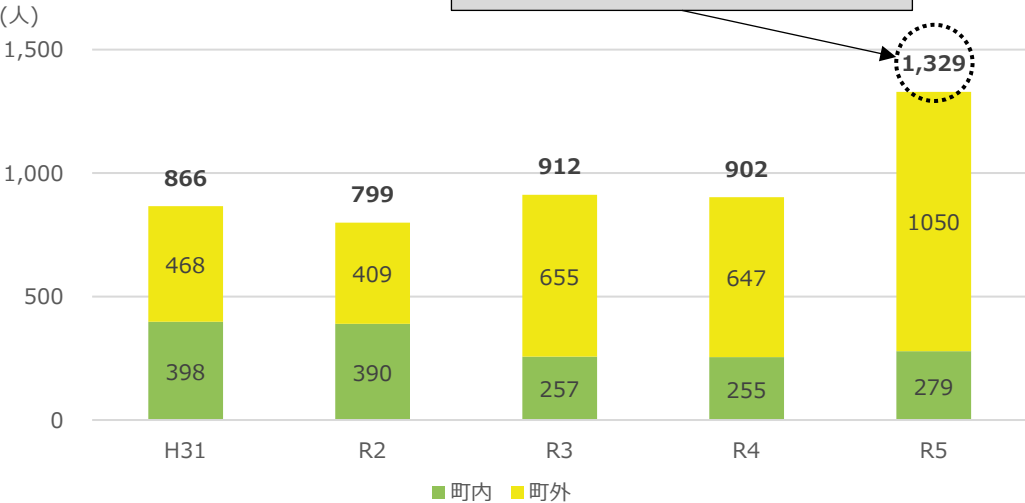
11) 交通空白地有償運送（グループ28）

(2)交通特性

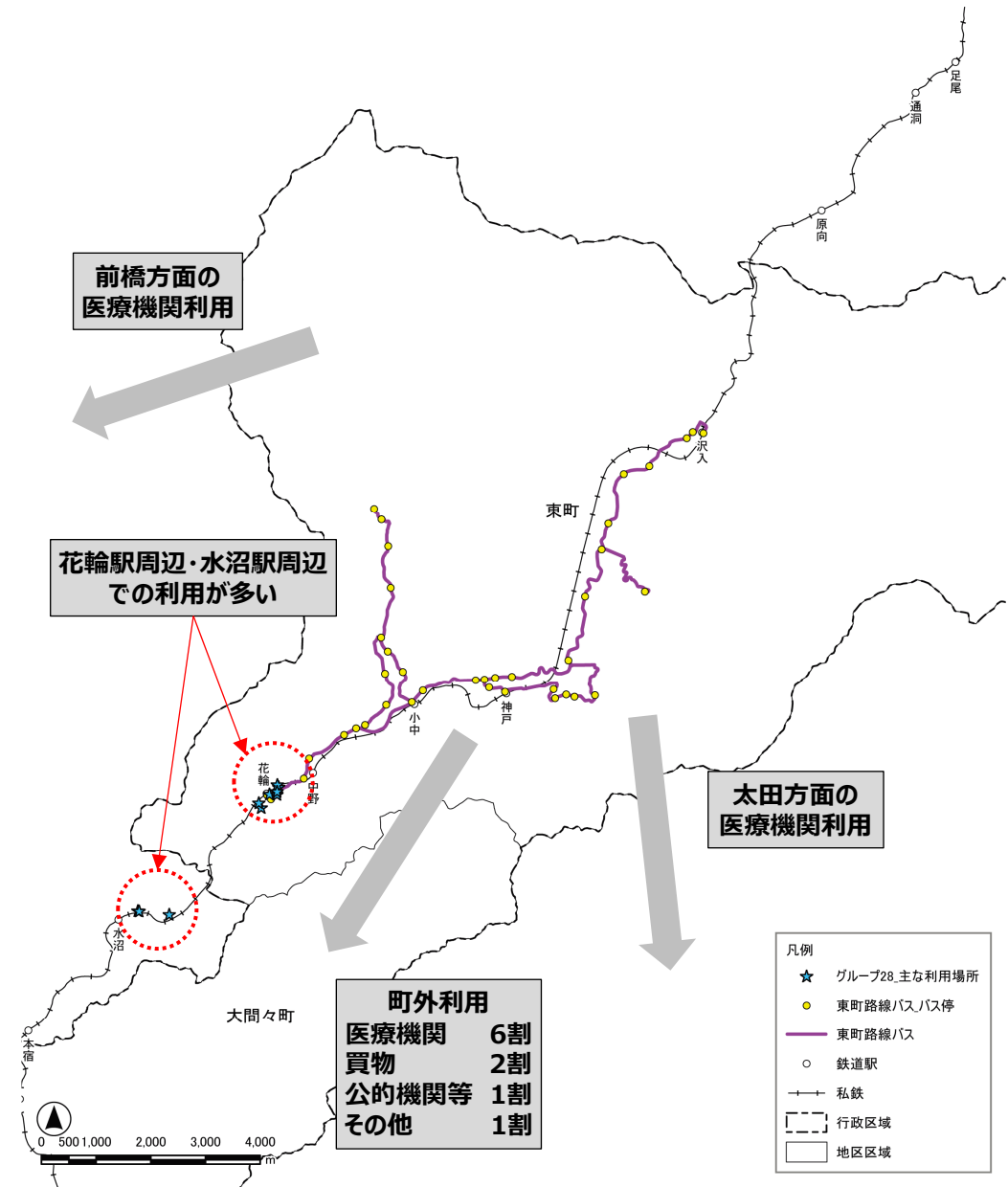
①事業概要

事業者	・ グループ28	
対象	・ 東町エリアに住所があり、日常生活の移動に困っている人	
車両数	・ 5台（うちスロープ付き1台）	
運行エリア	・ 発着地のいずれかが東町内であること	
主な利用	・ 東町内	花輪診療所、あずま歯科、花輪理美容室、まごころ、東支所、花輪郵便局、JA水沼、水沼診療所、水沼歯科、水沼ATM等
	・ 町外	医療機関 6割
		買物 2割
		公的機関等 1割
・ 町外遠方	その他 1割	
	・ 町外遠方	太田・前橋方面 医療機関

町外・町内利用者の推移



運行エリア



12) 福祉有償運送（ファミリー・わたらせライフサービス）

(2)交通特性

①事業概要（ファミリー）

事業者	・ ファミリー
対象	・ 障害者・高齢者
車両数	・ 3台
運行エリア	・ 発着地のいずれかがみどり市内・桐生市内 ・ 県内外での利用可能
主な利用	・ 通院、冠婚葬祭、行政手続き、金融機関、その他私事都合
運行日時	・ 月曜日から土曜日 8:30～17:00 ・ 日曜日、祝日も依頼があれば運行
登録者の状況	・ 男性 53名 ・ 女性 167名 合計 220名
	・ 59以下 12名 ・ 60代 9名 ・ 70代 44名 ・ 80代 113名 ・ 90代以上 42名 合計 220名

①事業概要（わたらせライフサービス）

事業者	・ わたらせライフサービス
対象	・ 障害者・高齢者
車両数	・ 4台 ・ 15台（協力会員自家用車）
運行エリア	・ 発着地のいずれかがみどり市内・桐生市内 ・ みどり市・桐生市外での利用可能
主な利用	・ 通院、買い物、美容室、墓参り、公共機関での手続き ・ リピータの利用が多い
運行日時	・ 平日 8:30～18:00 ・ 8:30～11:00、13:00頃は需要が多い
主な利用者	・ 男性 20% ・ 女性 80%

①事業概要

事業者	・ みどり市観光協会
対象	・ 観光客
車両	・ 低速電動バス
運行イベント	①花桃街道、②小平の里、③鹿田山満喫コース、 ④大間々まちなか散策、⑤その他イベント
料金	・ いずれも無料

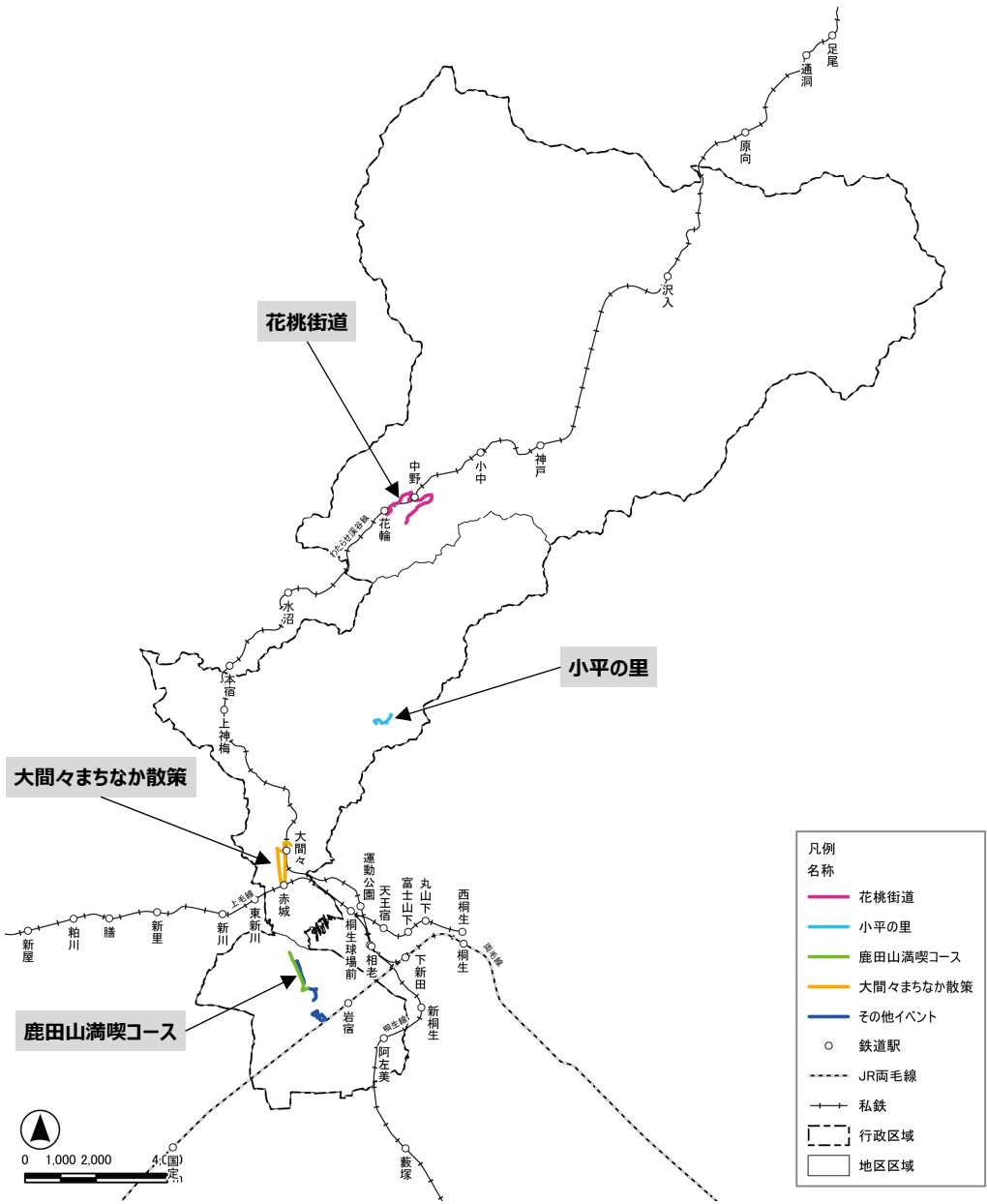
□ 運行目的

運行イベント	運行目的
①	・ 2キロに渡る花桃街道の花や景色を楽しむため
②	・ 小平の里親水公園について、繁忙期には公園駐車場が常に満車状態であることから、約700m離れた第2駐車場を使用することとなるため ・ 利用者の利便性の確保と併せて近隣の施設や自然を楽しむため
③	・ ひまわりの開花時期に合わせて、ひまわり畑と鹿田山の景色を楽しんでもらうため
④	・ 秋の行楽シーズン（関東菊花大会期間含む）に大間々駅や赤城駅からながめ公園・高津戸峡へ向かう2次交通として運行するとともに、ながめ公園や高津戸峡に自動車で訪れた観光客を大間々の「まちなか」周遊を楽しむていただくため
⑤	・ 会場から離れた周辺駐車場を利用する来訪者の運搬や試乗、周辺周遊のため

□ R5年度の運行回数・利用者数

運行イベント	①	②	③	④	⑤	合計
運行回数	24	404	43	56	86	613
利用者数	206	1,271	75	269	530	2,351

□ 路線図



2. 事業者ヒアリング結果

(1)ヒアリング結果

1) ヒアリング事業者

(1)ヒアリング結果

位置付け ※1	交通モード	事業者	運行エリア・区間
基幹幹線	両毛線	東日本旅客鉄道(株)	小山駅～新前橋駅 (市内駅：1駅)
主要幹線	桐生線	東武鉄道(株)	太田駅～赤城駅 (市内駅：2駅)
	上毛線	上毛電気鉄道(株)	中央前橋駅～西桐生駅 (市内駅：1駅)
補助幹線	わたらせ渓谷線	わたらせ渓谷鐵道(株)	桐生駅～間藤駅 (市内駅：7駅)
地域内交通	大間々・笠懸路線バス	赤城観光自動車(株)	大間々駅～阿左美駅
	東町路線バス	赤城観光自動車(株)	東町内
	電話でバス	赤城観光自動車(株)	大間々町・笠懸町
	タクシー	沼田屋タクシー(株) 桐生合同自動車(株) 桐生朝日自動車(株)【都合によりヒアリング未実施】	東毛地域・みどり市内
	スクールバス	みどり市学校教育課 ①大新東(株)、②三陽自動車(株)、③赤城観光自動車(株)	①あずま小中学校、②大間々北小学校、③大間々中学校
		桐生大学	桐生第一高校～桐生大学
	交通空白地有償運送	グループ28(NPO)	東町内
	福祉有償運送	ファミリー(NPO)	みどり市内・桐生市内
		わたらせライフサービス(NPO)	みどり市内・桐生市内
	観光周遊バス	みどり市観光協会	みどり市内の観光地

※1：「群馬県交通まちづくり戦略(群馬県地域公共交通計画)」での位置づけ

2) JR両毛線・東武桐生線

(1)ヒアリング結果

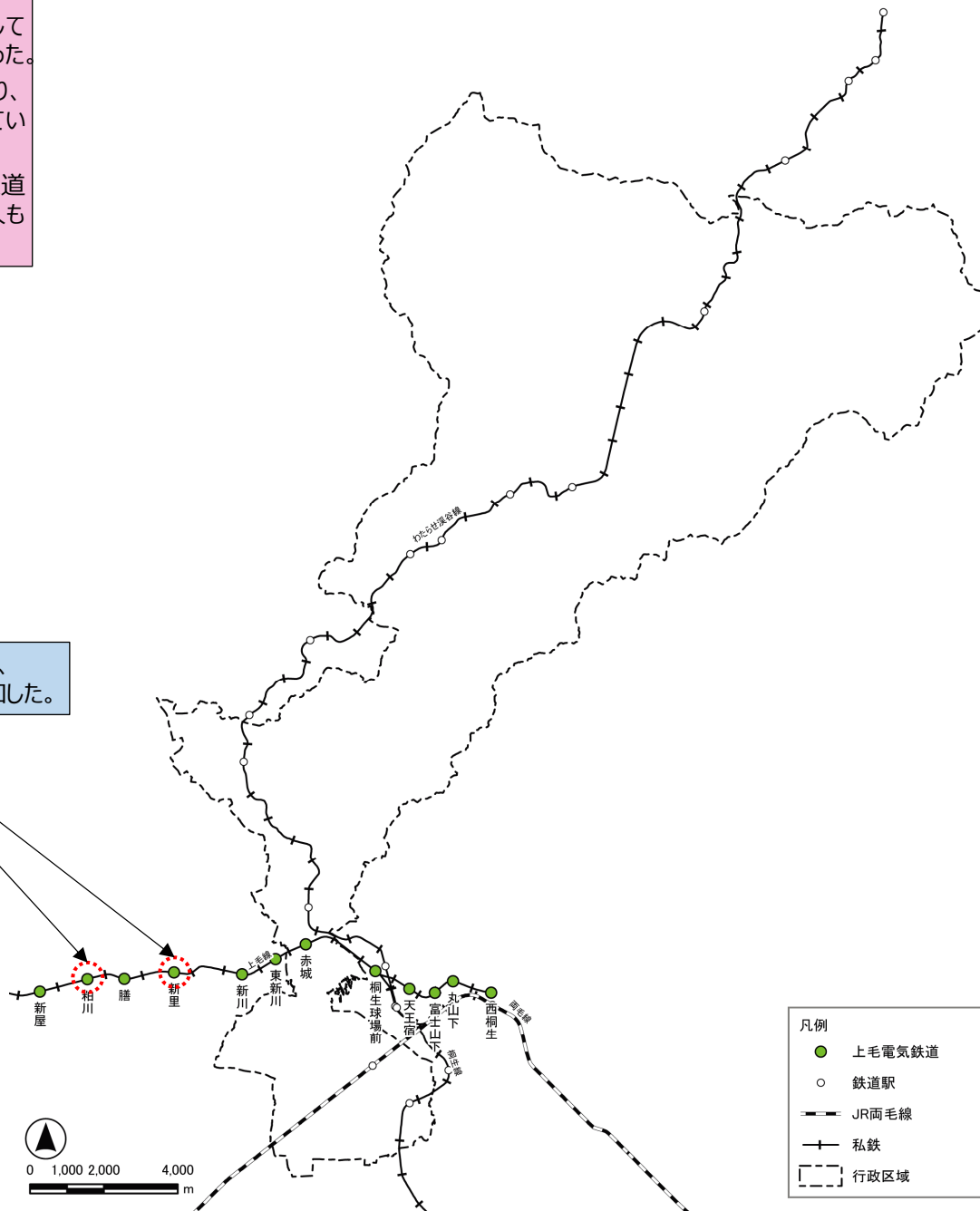
	JR	東武鉄道
利用者動向	- 桐生駅・岩宿駅の朝の時間帯は、学生が多い。 - 岩宿駅には市営無料駐輪場があり、様々な高校の学生が利用している。 - 岩宿駅北口は通学時間帯は混在しており、雨天時にはさらに混雑しているのではないかな。 - 高齢者の利用は少ない。 - 岩宿駅での、観光利用はほとんどない。	- 太田駅・新桐生駅周辺の高校生の通学で利用されている。 - 桐生市内企業への訪問の際に、特急の利用がある。 - 観光客は、赤城駅から上毛電鉄、相老駅からわたらせ渓谷鐵道を利用している。 - 東邦病院への通院で、阿左美駅の利用がある。
事業者から見た意見等	- 鉄道でSuicaが利用できるため、バスでも利用出来れば使いやすくなるのではないかな。 - GunMaaSを上手く活用できれば、周辺市町村からの交流人口が増加するのではないかな。	- 通勤・通学者に対して、行政から定期券の補助があると良いのではないかな。 - 日光方面への周遊、紅葉時期等の観光PRが必要ではないかな。 - ダイヤ改正時の上毛電鉄 赤城駅、わたらせ渓谷鐵道 相老駅との情報共有が必要ではないかな。 - 鉄道イベントでのPR活動・各種イベントのポスター掲出による公共交通の利用促進が必要ではないかな。
利用者からの意見等	1時間に2便あると良いとの意見があるが、運転手・車両不足により対応が難しい。	特になし
その他	- 岩宿駅の整備は、JR単体では考えていない。 - 岩宿を整備すれば、利用が増える可能性はある。 - 駅のバリアフリー化は、利用者数3,000人/日の駅を優先的に行う。	特になし

3) 上毛電気鉄道

(1)ヒアリング結果

- ・ コロナ禍により、R2～R4の利用者は減少した。
- ・ コロナ禍の三密回避により、鉄道を利用していた高校生が自転車で通学するようになった。
- ・ 通勤者は、リモートワークが増えたことにより、定期利用者よりも定期外利用者が増えているのではないかと。
- ・ スタンプラリーイベントを実施しているが、鉄道を利用せず、車でイベントに参加している人も多くいる。

- パークアンドライドの駅が6つあるが、のぼりを立てたところ利用者が増加した。



- ・最近では、電動自転車や電動キックボードの流行により、鉄道から移行することが懸念される。
- ・鉄道は大量輸送を前提としているため、平日は鉄道、休日は自転車を利用するなど使い分けをして頂きたい。
- ・路線バスは、鉄道との乗り継ぎに合わせて運行することが重要ではないか。
- ・公共交通の促進には、鉄道事業者だけでは限界があり、沿線自治体や企業と連携した取り組みを行いたい。
- ・ノーマイカーデーや公共交通利用者には、手当てを設けることもありなのではないか。
- ・きっぷのIC化は、課題となっているが全車両に導入するとなるとかなりの金額となる。補助が出るような仕組みがあると良いのではないか。
- ・鉄道に平行するバス路線は、効率的ではない。

- IC化・バリアフリー化をしてほしいとの意見がある。バリアフリー化を推進したいが、他事業が優先となってしまう。

- 全駅で駐輪場を整備している。
- 定期外利用者増加の取組として、各種イベントを開催している。
- デハ101の貸切イベントを実施するなど、鉄道マニアからは評判が良い。一方、車両の老朽化により、修繕費が掛かっている。

凡例

利用者動向

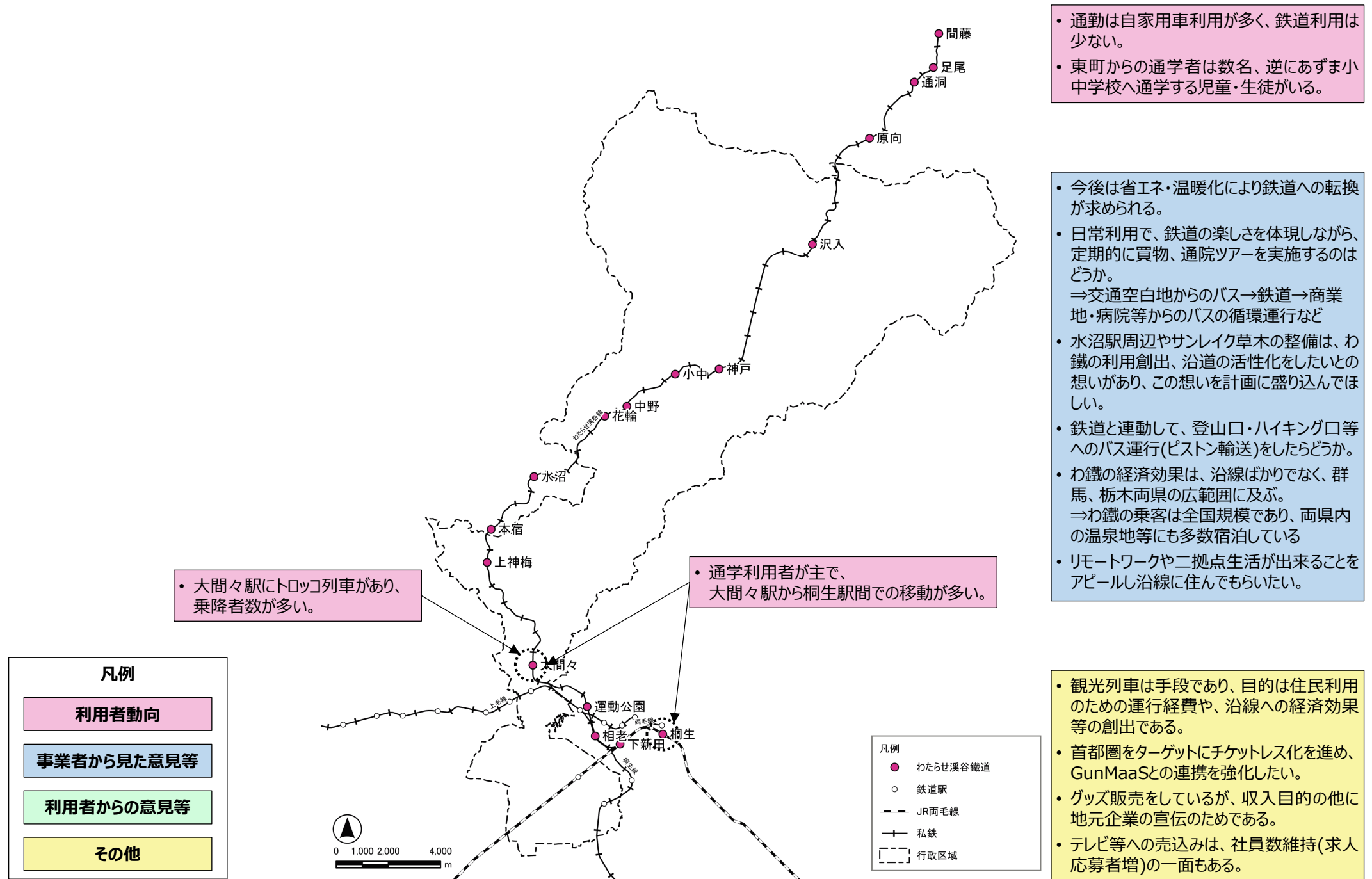
事業者から見た意見等

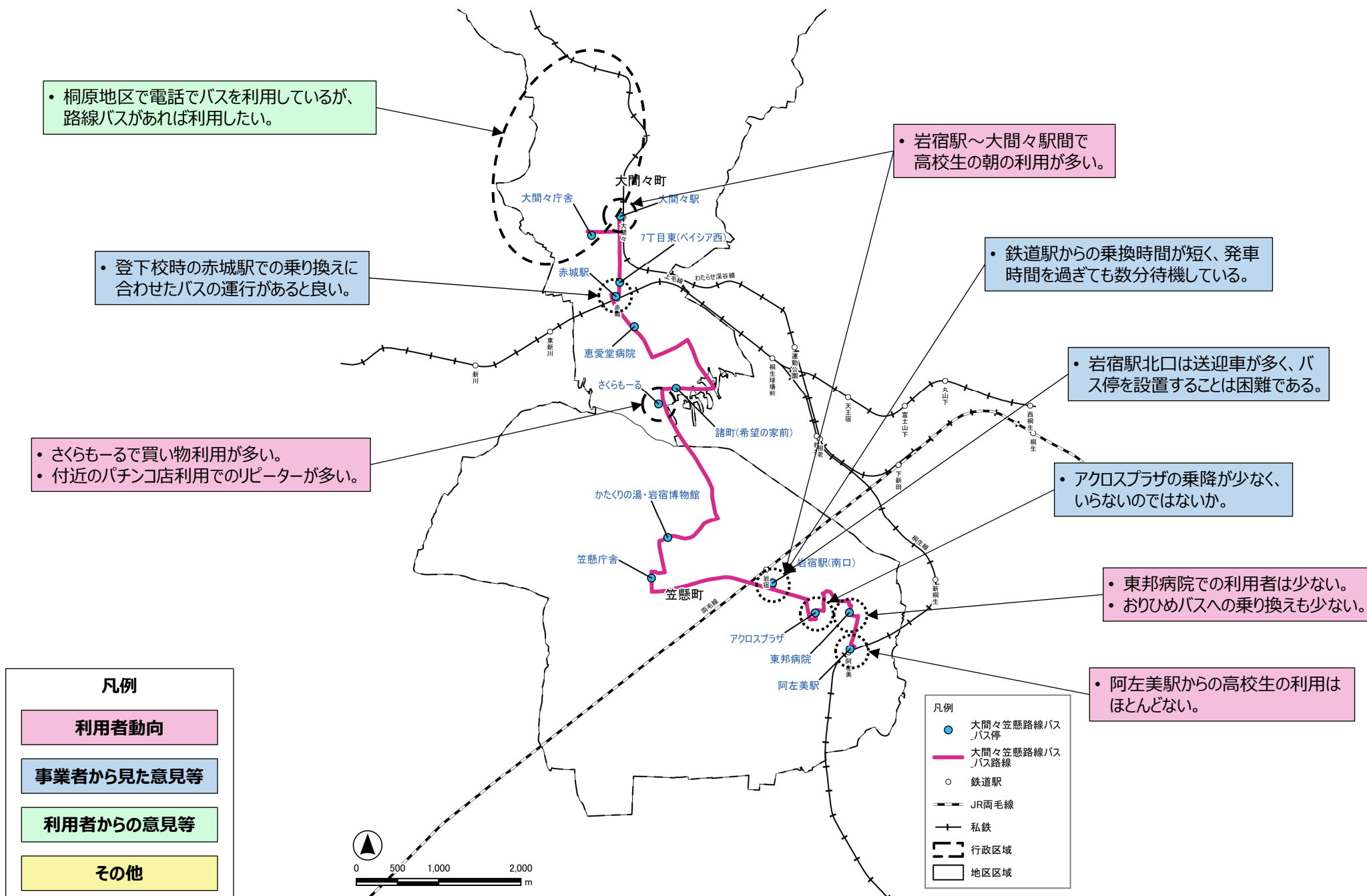
利用者からの意見等

その他

4) わたらせ溪谷鐵道

(1)ヒアリング結果





6) 東町路線バス（赤城観光自動車(株)）

(1)ヒアリング結果

- 住民のための路線ではなく、無駄ではないか。

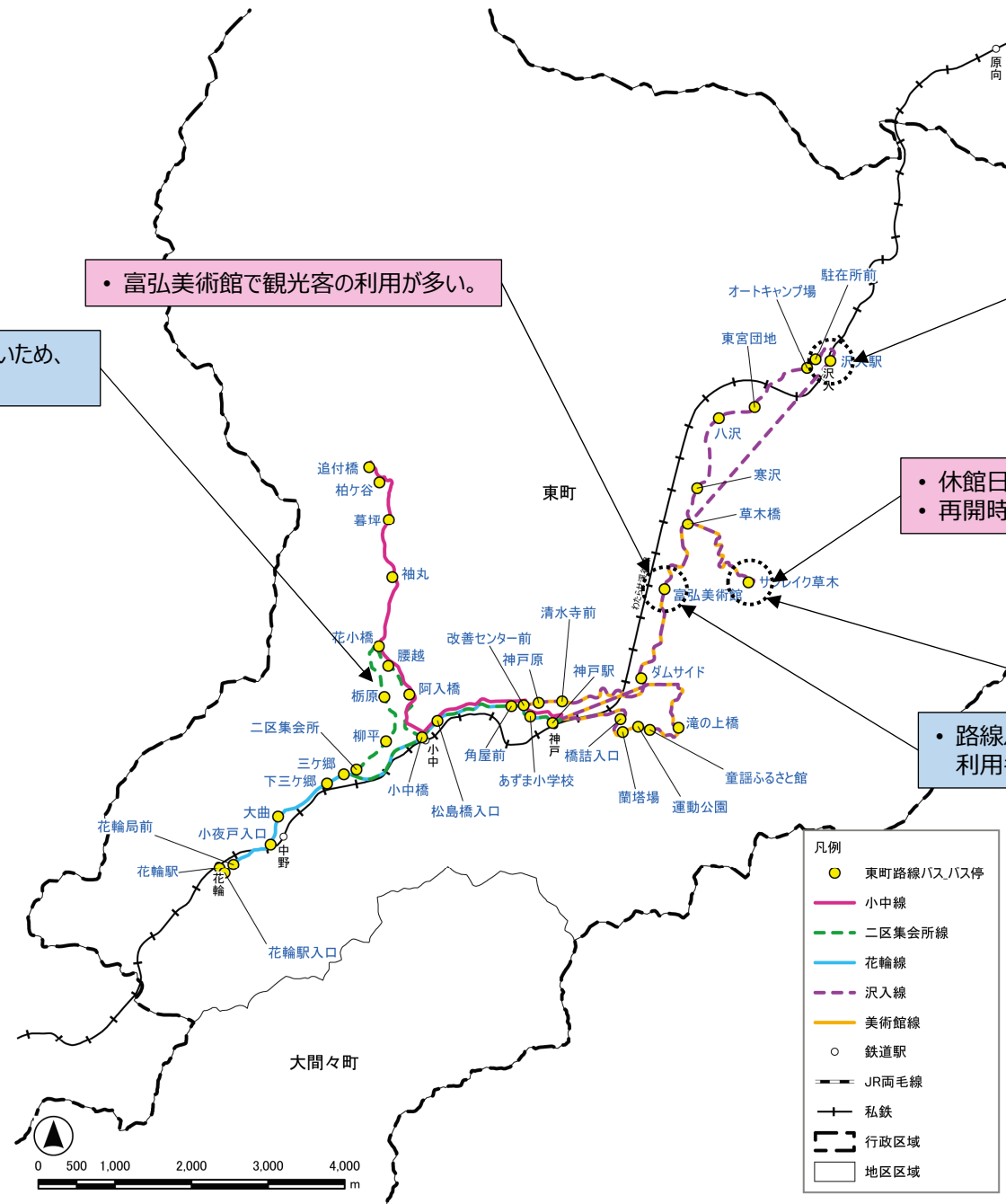
- 二区集会場線は利用者がいないため、無駄ではないか。

- 富弘美術館で観光客の利用が多い。

- 沢入線での観光客利用は少ない。

- 休館日前はサンレイク草木の利用者が多かった。
- 再開時には増えるのではないか。

- 路線バスは、富弘美術館・サンレイク草木の利用者がターゲットになるのではないか。



凡例

利用者動向

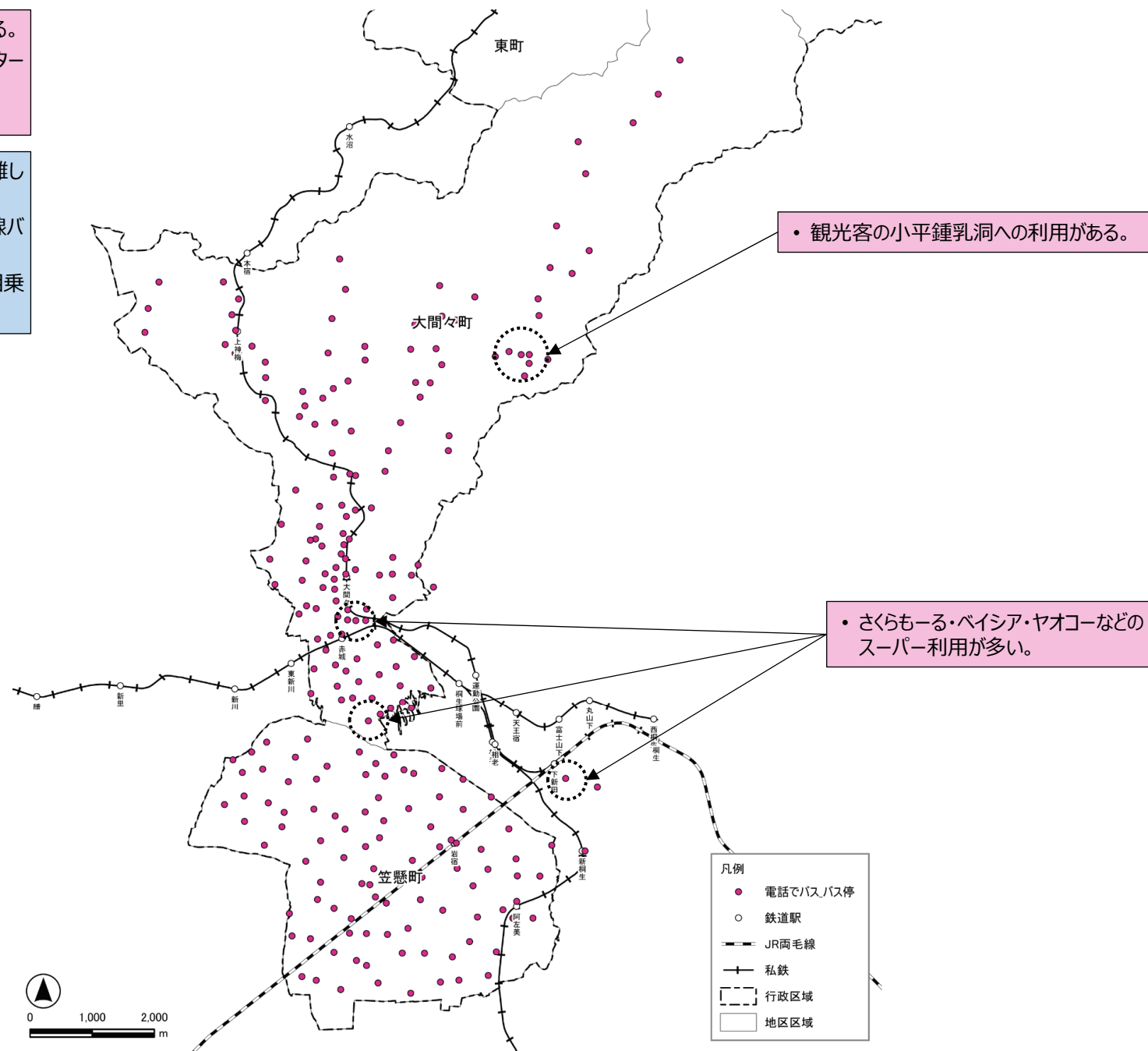
事業者から見た意見等

利用者からの意見等

その他

- 足の不自由な方が通勤で毎日利用している。
- 通院で8時・9時代での利用が多く、リピーターは時間が決まっている。
- 学生の利用はない。

- 今以上の拡充等は、運転手不足のため難しい。
- 高齢者でも元気な方が利用するため、路線バスで対応できるのではないかな。
- 山間部から平野部の利用の際に、上手く相乗りにならず、非効率である。



凡例
利用者動向
事業者から見た意見等
利用者からの意見等
その他

(株)沼田屋タクシー、桐生合同自動車(株)	
利用者動向	- 自宅から病院(特に厚生病院・恵愛堂)までの利用が多い。 - 高齢者の病院・買い物等での利用7～8割を占める。 - 平日の午前中は病院利用で混みあっており、要望に応えられていないことがある。 - 桐生駅・新桐生駅・大間々駅・赤城駅、厚生病院・恵愛堂病院・東邦病院、さくらもーるで主に待機をしている。 - 東町での運行はほとんどない。
事業者から見た意見等	- 岩宿駅北口の朝の時間帯は、学生の送迎により混雑している。 - 電話でバスでは、ドアツードアにならずタクシー需要が増えているのではないかな。 - 電話でバスと併せて利用できるようになれば利用者は便利になるのではないかな。 - バスの案内が分かりづらく、利用したくても利用できていないのではないかな。
利用者からの意見等	阿左美駅での待機要望があるが、需要もなく運転手不足により対応は難しい。
その他	- コロナ禍により、今までいた運転手が感染リスクを考慮して、退職してしまった。感染対策を実施しているが、運転手が戻ってこない状況となっている。 - 運転手不足により、車両が余剰している。 - 桐生市では、余剰車両を活用した日本版ライドシェアを行う。 - 大都市では流しのタクシーが多いが、地方ではほとんどが電話での予約となっている。

9) スクールバス

(1)ヒアリング結果

	あずま小中学校	大間々北小学校	大間々中学校	桐生大学
スクールバス全般	- 笠懸町久宮でスクールバスの運行の要望があるが、廃校となった学校区を運行エリアとしているため、他の地域での運行は予定をしていない。 - 月の半分ほど、校外学習で車両を使用しているため、混乗や日中に他の用途での利用は難しい。 - 停留所は指定の場所はなく、児童・生徒の自宅に合わせて教育委員会・事業者で協議し、決定している。 - 冬季は危険な個所があり、迂回する場合がある。			
利用者動向	- 児童・生徒宅からのバス停までの距離は、およそ50m程度である。 - わ鐵を利用し、あずま小中学校へ通学する児童・生徒がいる。	車両4台で4エリアを運行しているが、エリアによって児童の人数に偏りがある。	部活動の時間に合わせて運行している。	- 学生の2～3割程度利用している。 - 県内出身者が多く、鉄道利用者も多い。 - 桐生駅・阿左美駅は利用者が多い。
事業者から見た意見等	停留所は、電話でバスの停留所、消火栓の案内看板を基本としているが、保護者からの要望により、ドアツードアでの対応が増えている。	特になし	大型バスでの運行であるため、運行エリアが狭まっている。	- 授業の時間に合わせて運行しているため、今後も維持していく。 - 路線バスを利用できるよう授業時間帯に応じて、車両の大型化など学生が利用できるような運行をしていただきたい。
利用者からの意見等	特になし	赤城ロマンズの別荘地にも通学者がいるため、スクールバスを運行してほしいとの意見がある。	特になし	特になし
その他	運転手不足・高齢化への対応が課題となっている。	市より貸与の車両が老朽化しており、運行上危険を伴う可能性がある。	特になし	- 大学側から、公共交通利用を強制することはできない。 - 自動車通学の制限はなく、許可制としている。 2027年以降に桐生キャンパスを市民に開放することを検討しており、路線バスが乗入れることで利用できる市民が増えることを想定している。

	グループ28	ファミリー	わたらせライフサービス
利用者動向	- 通院7割・買物2割・その他1割での利用。 - 東町全域での利用。 - 午前中の利用者が多い。 - 市内病院の他、桐生市・前橋市・足利市など幅広く利用者がいる。 - 以前は、わ鐵を利用していた人が時間に合わせて行動することが難しくなり、利用している。	- 通院90%・買物5%・その他5%での利用。 - 主として自宅から医療機関、時には介護施設から医療機関への利用がある。 - 今後の需要は、現状程度、微増すると予想している。 - 外出回数は、月に一度程度での利用が多い。	- 基本的には、みどり市・桐生市を運行エリアとし、市外の通院の付添いを行う。その場合は、自宅から自宅までの付添いを行っている。 1人当たりの利用回数は、週に2～3回となっている。 1週間平均では、55人程度の利用がある。
事業者から見た意見等	- 公共交通のバリアフリー化を進めてほしい。 - 観光客は東町路線バスを利用しているため、廃線することはないと考える。 - 運転手や車両の確保など、行政や社協と連携を図りたい。 - 運転だけでなく、介助から病院の受付・買物の補助まで頼まれてしまう。	- 現在の事業規模では、1～2人の運転手で十分である。 - 平成24年12月に運送対価を改定して以降、改定をしていない。 - 公共交通を利用できる方は、公共交通を利用するよう促している。 - 本事業は、公共交通利用が困難な方へのサービスであることを計画に記載して頂きたい。	- 需要の増加により、運転手が不足している。 - 介助を必要とする人たちには必要な事業である。 - 運転免許返納後の移動手段が必要だが、公共交通で移動困難者のサポートを賄うことは困難である。 - 住民参加型の有償ボランティアの育成が有効であり、太田市での買い物支援が今後、注目されるのではないかと。 - 住民参加型地域づくり、地域福祉活動計画への取り組みが必要ではないかと。
利用者からの意見等	- 顔見知りの人の運転手に送迎をしてほしい。 - 制度がなくなると、困る。 - 町内より市内・市外に行くことが増えた。	- 利用者・ケアマネジャーからはこんなに安くて大丈夫かとの意見がある。 - みどり市福祉タクシー券の支給枚数が少ない。現在の48枚から60枚程度まで増やしてほしい。	- 当日受付をしていないが、当日に利用したいとの電話が多い。 - 土日は運行していないが、運行してほしいとの意見がある。
その他	- 過疎地域を元気にしたいとの思いから事業を始めた。 - 高齢者にとって、ドアツードアは必要なサービスである。 - 今後も、利用者の制限を設けることは考えていない。	- みどり市内を拠点とする福祉有償運送サービス事業者が存在しておらず、地元の福祉について危機感を持ったことがきっかけでNPO法人を設立した。 - 令和9年までの事業継続の更新し、今後も継続していく見込みである。 - これまでの最長移送は、桐生市から岩手県一関市の病院（片道400km）である。	- 障害者や高齢者の外出支援を目的に、無償ボランティアから始まった。ボランティア移送の限界を感じ、NPO法人を設立した。 - 一般住民の幸せづくりが目的である。

11) 観光周遊バス

(1)ヒアリング結果

みどり市観光協会					
	花桃街道	小平の里	鹿田山満喫コース	大間々まちなか散策	その他イベント
利用者動向	2キロに渡る花桃街道の花や景色を楽しむため。	- 小平の里親水公園について、繁忙期には公園駐車場が常に満車状態であることから、約700m離れた第2駐車場を使用することとなるため。 - 利用者の利便性の確保と併せて近隣の施設や自然を楽しむため。	ひまわりの開花時期に合わせて、ひまわり畑と鹿田山の景色を楽しんでもらうため。	秋の行楽シーズン（関東菊花大会期間含む）に大間々駅や赤城駅からながめ公園・高津戸峡へ向かう2次交通として運行するとともに、ながめ公園や高津戸峡に自動車で訪れた観光客を大間々の「まちなか」周遊を楽しんでいただくため。	会場から離れた周辺駐車場を利用する来訪者の運搬や試乗、周辺周遊のため。
事業者からみた意見等	- みどり市の観光PRが目的であり、公共交通としては運行していない。 - 主要公共交通への乗り換えるためのダイヤの見直しを行いたい。 - 公共交通利用促進のためのアナウンスが必要ではないか。				
	- 所要時間に20分かかるため、乗車待ちになる。（最大1時間） - 会場が非常に混雑するため、一般車両とのすれ違い等の配慮が必要となる。 - 時速20Kmでの低速運行のため、渋滞を発生させないための配慮が必要となる。 - 周遊を目的とし、発着が同じ場所となるため、途中乗車ができないことから、発着とは反対側からの来訪者（徒歩）を乗車させることができない	- 混雑ピーク時期には、路上駐車が増加して渋滞が発生するため、運行に支障が生じている。 - 第2駐車場に車両構造上進入できないため、駐車場外にバス停を設置する必要がある。	発着場がわかりづらい。	- 運行数は多いが、タイミングによっては、お客様が乗車できないことがある。 - 鉄道と低速電動バスの発着のタイミングが合わないため、利便性向上を図る必要がある。	- 商工フェアでの道路幅員が狭い。 - ひまわりの花畑まつりでのイベント会場内に運行ルートを設定した場合、人混み通過時に安全確保や配慮が必要となる。 - 添乗員がいないため、ワンオペで運転と観光案内を兼務する必要がある。
利用者からの意見等	- 花輪駅から出発してほしい。 - 並びが多すぎて、乗車したいが時間の都合上難しい。 - 運賃を取って欲しい。 - 今後も続けて欲しい。 - 徒歩で街道を歩くお客様から、乗車したいとの声が出ている。	乗車人数が9名の為、家族構成ではバラバラになってしまう。	- 鹿田山で見かけて乗車したいが、岩宿で降りるのは厳しい。 - 運行自体を知らなかったため、もっとPRしても良いのではないかな。 - 見かける機会が少ないため、運行しているかわからない。	- 赤城駅から満員で乗ることが出来なかった。 - 乗車したいが、わたらせ渓谷鐵道・上毛電鉄の時間に間に合わない。 - まちのどこでも乗れるようになると市民も便利ではないか。	- もっと目立たせればよいのではないかな。 - 開花状況などバスで公開してみてもどうか。
その他	- 市が加入する保険は土日祝に現地対応ができないため、事故発生時に迅速な対応ができない。 - 車両が経年劣化している。 - 一部イベントについては車両及び運転手が足りない。				

3. 実態調査の設計

(1)実施概要

対象	概要
市民	・ 18歳以上の市民4,000人を対象に、アンケートを郵送配布・郵送回収にて行う。
高校生	・ 大間々高校生を対象に、高校へ出向きアンケートを配布・ネット回収にて行う。別途、グループワークを行う。 ・ 大間々高校以外へ通学する高校生に向け、アンケートを郵送配布・郵送回収にて行う。
観光客	・ 桐生駅・大間々駅・神戸駅にて、観光客を対象に聞き取りを行う。
大間々・笠懸路線バス利用者	・ 大間々駅・赤城駅・岩宿駅・阿左美駅の停留所付近で、大間々・笠懸路線バス利用者を対象にアンケートを行う。

4. 今後のスケジュール

(1)第3回活性化協議会に向けて

1) 第3回活性化協議会までのスケジュール

(1)第3回活性化協議会に向けて

月	活性化協議会	事項
R6.11		□ アンケート発送
R6.12 ～ R7.1		□ アンケート分析 □ 上位計画・既存データ・ヒアリング結果・アンケート結果から、将来像の案の設定、将来像の実現に向けた課題の整理
R7.2～3	第3回	□ （仮）「将来像の設定、将来像の実現に向けた課題」の協議